

# 平成27年度 松本市 小中学校 環境教育支援事業 報告書



美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

# 松本市小中学校環境教育支援事業について

## 1 この事業について

学校内における環境教育の推進を図るために、専門性を有する企業・団体・個人が講師として実施できる環境教育プログラムを紹介し、環境学習の授業に活用していただくことで、学校内における環境教育の一層の推進を図るものです。

行政部門（松本市環境政策課：事業の全体調整）、教育部門（松本市教育委員会：市内小中学校との連絡・調整）、民間部門（中信地区環境教育ネットワーク：環境教育プログラムの作成・提案、講師団体との調整）の3者による協働事業として、平成22年度から実施しています。

## 2 経過

- (1) 平成27年4月16日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成27年4月20日 松本市小中学校教頭会へ内容説明  
各校に事業メニューの提示と希望調査
- (3) 平成27年5月11日までに16校から実施希望、問合せあり
- (4) 平成27年5月以降、順次事業実施
- (5) 平成27年7月 事業に係る費用を中信地区環境教育ネットワークが負担する「おためしプログラム」について、校長会、教頭会へ周知、事業を実施。3校3プログラムの申込みあり。

## 3 実施状況（平成28年3月1日現在）

- (1) 実施校 21校（小学校18校 中学校3校）
- (2) 実施人数 1,991名（小学生1,735名 中学生256名）
- (3) 実施事業 39事業（19メニュー）
- (4) 実施団体 16団体（12団体 4企業）

## 4 報告書構成

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～70頁
- (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 講師コメント 71～73頁
- (3) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム 74～97頁

## 平成27年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

番号	学校名	メニュー番号・内容	協力団体	実施児童、生徒	人数	実施日	頁番号
1	開智小	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム『鹿と環境との関わりについて学ぶワークショップ』	NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やたまみ	5年 4クラス	110	7月9日	1～2
2	波田小	3 梓川リバーウォーキング『知ろう！遊ぼう！ふるさと波田』～梓川を通して～	合同会社リトルピークス	5年4組	29	6月25日	3～4
3	波田小	3 梓川リバーウォーキング『知ろう！遊ぼう！ふるさと波田』～梓川を通して～	合同会社リトルピークス	5年4組	29	10月9日	
4	波田小	梓川の音を知ろう『知ろう！遊ぼう！ふるさと波田』～梓川を通して～	波多腰忠行先生	5年4組	29	1月～2月	5～6
5	波田小	3 梓川リバーウォーキング『海を守ろうプロジェクト』	合同会社リトルピークス	5年3組	29	9月17日	7～8
6	波田小	3 梓川リバーウォーキング『海を守ろうプロジェクト』	合同会社リトルピークス	5年3組	29	10月15日	
7	波田小	水ってなあに？『海を守ろうプロジェクト』	株式会社 環境技術センター	5年3組	29	1月～2月	9～10
8	二子小	4 めかくどご飯炊き体験	NPO安曇野ふるさとづくり応援団	3年 2クラス	54	10月30日	11～12
9	会田中	森林整備指導	寿さと山くらぶ	3年2組	24	7月13日	13～14
10	会田中	10 マイ箸づくり	寿飽の会	3年2組	24	8月31日	
11	会田中	4 めかくどご飯炊き体験	NPO安曇野ふるさとづくり応援団 自然エネルギーネットまつもと(四賞林研)	3年2組	24	10月23日	15～16
12	安曇小中	6 ツキノワグマの生態を知ろう	信州ツキノワグマ研究会	小1～中3	53	9月14日	17～18
13	田川小	7 水の生物の観察会	川の自然と文化研究所(NPO)	1年 2クラス	48	6月22日	19～20
14	会田中	8 やさしい放射線の実験教室	株式会社 環境技術センター	3年1組	23	10月29日	21～22
15	会田中	9 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり	エコネットまつもと	1年	35	10月22日	23～24
16	島立小	10 マイ箸づくり 裁縫作業指導(マイ箸収納袋制作)	寿飽の会 松本市ボランティアセンター	6年 2クラス	42	11月19日	25～26
17	梓川小	10 マイ箸づくり 『うどんやさんの箸を作ろう』	寿飽の会	特別支援学級	20	10月7日	27～28
18	信大 附属小	10 マイ箸づくり	寿飽の会	4年東組	34	7月14日	29～30
19	信大 附属小	11 裁縫作業指導(マイ箸収納袋制作)	松本市ボランティアセンター	4年東組	34	7月21日	
20	波田小	12 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社	6年1組	35	11月11日	31～32

番号	学校名	メニュー番号・内容	協力団体	実施児童、生徒	人数	実施日	頁番号
21	中山小	13 生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	4年	21	6月	33～34
22	波田小	15 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級	27	11月4日	35～36
23	二子小	15 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年 2クラス	51	11月18日	37～38
24	会田中	15 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	2年1組	26	10月29日	39～40
25	鎌田小	16 木材の活用法	松本市林業士会	5年4組	30	10月14日	41～42
26	中山小	17 緑のカーテン設置指導 『グリーンカーテンで、夏も涼しく』	松本市緑化協会	2年 1クラス	21	5月11日	43～44
27	田川小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 2クラス 支援学級	60	5月12日	45～46
28	島内小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年3クラス 2年3クラス	205	5月13日	47～48
29	四賀小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4年 5年 6年	73	5月13日	49～50
30	菅野小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 4クラス	125	5月14日	51～52
31	開智小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4年 1クラス	28	5月14日	53～54
32	本郷小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 2クラス	44	5月15日	55～56
33	鎌田小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年4クラス 特別支援3クラス 4年1クラス	182	5月15日	57～58
34	今井小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 2年	54	5月18日	59～60
35	源池小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4年 2クラス	47	5月21日	61～62
36	芳川小	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4年 4クラス	117	5月	63～64
37	波田中	17 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	生徒会 緑化委員会	39	5月	65～66
38	今井小	18 自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年 2年	54	10月15日	67～68
39	源池小	19 体感プログラムを中心とした自然体験学習	トゥモロウ・リーディング倶楽部	2年 2クラス	53	9月29日	69～70
計	21校	19種類	12団体 4企業	1,991人 (小学校1,735人、中学校256人)			

※内「おためしプログラム」については、3種類のプログラムが実施されました。

<p>授 業 名</p>	<p>自然を皆と一緒に考えるプログラム 『鹿と環境との関わりについて学ぶワークショップ』</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立開智小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年1組、2組、3組、4組 参加人数（110名）</p>
<p>担当者</p>	<p>1組：保月毅司 2組：今井松美 3組：栗岩優 4組：齋藤令子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年7月9日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ</p>
<p>実施概要</p>	<p>美ヶ原周辺と、長野県全域でも鹿の数が増えている。高山植物が食べられてしまう等、被害も聞くが、実際の環境の変化はどうか、ワークショップを行い、鹿・自然の中の食べ物・寝場所の3つに分かれて、その数の変化をゲームの中で体験した。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>鹿・食べ物・鹿の寝床に分かれる</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>鹿が食べ物を食べる（連れて行く）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>環境の変化の解説</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>実際の鹿の数の推移グラフで解説</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	5 学年主任 保月 毅司
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿について、増えていることは知っていたが、増えすぎるとえさがなくなることや寝場所がなくなることには知らなかったので勉強になった。</li> <li>・こんな風にえさが足りなくなるんだなと思った。</li> <li>・たくさんの鹿が生きていれば、環境も変わってしまうと思った。</li> <li>・人間が多くなるとこんな風に影響があるのかと思った。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識として子どもに与えることが普段から多いが、今回のワークショップは、自然の中で体を動かしながら鹿が増えると環境がどうなるのかを体感できたことがよかった。翌日周辺の自然探索もしたが、鹿のフンを探したり、その他の自然にも目が向いていた。</li> <li>・本来は、予算の都合がつけば、講師の先生に植生や昆虫などについてご指導を頂きながら登山をしたかった。このようなことが可能かどうか、何か情報があれば教えて頂きたいです。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>梓川リバーウォーキング 『知ろう！遊ぼう！ふるさと波田』 ～梓川を通して～</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年4組（29名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>中村 浩視</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>(1) 6月25日（木） (2) 10月 9日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>	
<p>実施概要</p>	<p>(1)梓川の源流など、梓川周辺の様子を映像で見たり、川についての話を聞いたりして自分たちの地域を流れる川についての知識を得ることを通して、親しみを感じ、興味関心をもつ。 (2)実際に梓川へ行き、川に入って体験できることや川遊びを通して、川に親しみ、川の役割や危険性も知りながら、地域を流れている梓川に親しみ愛着をもつ。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①川の危険さを知る (ペットボトルで実験)</p> 	<p>②おぼれた人を救助する方法を知る</p> 
	<p>③実際川の流れのないところへ入って、水の冷たさ(10月)を知り、見ている所より深さがあることを実感する</p> 	<p>④川を安全に横断する方法を知る</p> 

実施状況  
(授業風景)

⑤梓川を体験してみんなにっこり！



記入者

中村 浩視

授業について

**1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等**

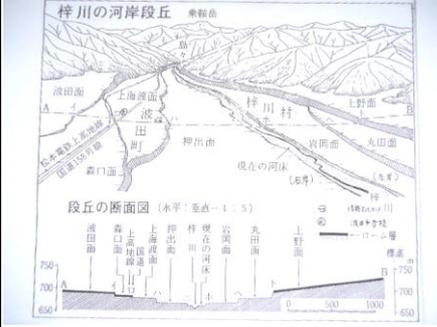
・6月に行った「梓川について知る」では、梓川の水の一滴が上高地、乗鞍などの山深くから流れ出ていることを知り、ふるさとにあるすばらしい清流に大変興味をもつことができた。

・10月の「リバーアドベンチャー」は、当初9月上旬に予定していたものが、長雨のため川が増水して入れなかったり、ダムからの放流があり入れなかったりする事態が続き延期を繰り返した。これが川の実態であることを知り、普段の川の様子と増水したときの様子もわかり、自然の怖さも知ることができた。

・「リバーアドベンチャー」は、楽しさだけでなく水の流れに足をを入れてみて、足がとられてしまいそうな、流されてしまいそうな怖さを実感していたが、安全面も考えて講師の先生に3人入って頂いたおかげで、全員が川歩きや救助の方法を体験でき、もっともっと梓川で遊んだり川を親しんだりする活動をしたいという気持ちをもった。

**2 担任の感想**

ふるさとにある清流が、子どもたちにとって近くて遠いものだったものを、この体験を通して、少し近いものになりもっともっと梓川のよさを知りたくなってきていることがとても嬉しい。担任一人では到底活動できない自然を目の前にして、プロの方に教えてもらえたり活動したいことを支援してもらえたりしたことは大変ありがたかった。活動後は、「梓川の水域(上流のダムのこと)」「梓川の歴史」「梓川の生き物」についてもっと調べていきたいという気持ちがある。

<p>授 業 名</p>	<p>梓川の昔を知ろう 『知ろう！遊ぼう！ふるさと波田』 ～梓川を通して～</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年4組（29名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>中村 浩視</p>	
<p>実施日</p>	<p>1月29日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>波多腰 忠行（波田在住、元中学校教諭）</p>	
<p>実施概要</p>	<p>(1) 梓川扇状地の地形（河岸段丘）を地図に色分けしてぬりながら理解し、自分の住んでいる場所を知る。 (2) 梓川扇状地波田面の地質（火山灰）を顕微鏡で観察し、鉱物などが自分たちの住んでいる地質にあることを知り、自分たちの郷土に興味や関心をもつ。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①梓川扇状地の地形を知る</p> 	<p>②河岸段丘という言葉を知り、河岸段丘の面に色をぬりながら、理解する</p> 
	<p>③波田面火山灰を水で練る</p>	

実施状況  
(授業風景)



④火山灰を椀がけし、いらぬ土を除き鉱物を取り出す



⑤顕微鏡で鉱物を観察する

記 入 者

中村 浩視

授業について

- 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等
  - ・波多腰先生の話聞いて、図にもあるように梓川に向かって段々になっていることを知った。坂になっていることは知っていたけれど、このように（波田面、森口面、上海渡面、押出面）になっていることは知らなかった。パソコンでの調べ学習でもなかったのだから、人の話を聞くことは大事だと思った。
  - ・自分の住んでいるところは、中波田に家があるから波田面で、高い方の段丘に住んでいたことを初めて知りました。赤土の実験では、赤土の中はサラサラだと思ったけれど、中は透明色や黄色、オリーブ色したキラキラ光る鉱物がたくさんありびっくりしました。
  - ・昔の梓川のことをいっぱい知れたのでよかったです。初めて知ったことが多くありました。今日の勉強は少し難しかったけど、楽しかったです。波田はまだまだ知らないことがあるのもっと波田のことを知りたいです。
- 2 担任の感想
 

「梓川の水域(上流のダムのこと)」「梓川の歴史」「梓川の生き物」についてもっと調べていきたいという気持ちをもった子ども達に、今回は「昔の梓川を地理学と地質学の面」から教えて頂いた。5年生には多少難しい内容かと思ったが、子ども達はよく話を聞いて、自分の住んでいる場所がどんどこか知ることによりもっと知ってみたいと興味をもてたことが大変よかったです。ふるさと（郷土）に目を向けるきっかけをいくつも体験でき、また来年度も続けて活動していきたいという気持ちをもっていることが嬉しい。

<p>授 業 名</p>	<p>梓川リバーウォーキング 『海を守ろうプロジェクト』</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年3組（29名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>熊谷 志帆</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>(1) 9月17日（木） (2) 10月15日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>	
<p>実施概要</p>	<p>(1) 梓川の源流など、梓川周辺の様子を映像で見たり、川についての話を聞いたりして自分たちの地域を流れる川についての新たな知識を得ることを通して、「海を守る」ためにはどうしたらいいのかということについて具体的に考えていく手掛かりを見つけることができる。 (2) 実際に梓川へ行き、川に潜む危険についての話を聞いたりゴミ拾いをしたり、生き物を集めたりすることによって川の現状を知り、海を守るために自分がしたいことを見つける手掛かりを得ることができる。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①川の危険についてお話をお聞きしました。</p> 	<p>②川のゴミを拾いました。</p> 
	<p>③ライフジャケットを身につけ、遠くの人に安全や危険を知らせる合図を覚えてもらったり、川の危険な場所についての話を聞いたりしています。</p> 	
	<p>④川の生き物を観察しました。</p>  	

⑤最後は拾ったゴミと一緒に。



記入者

熊谷 志帆

授業について

## 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

### (1)の授業後の感想

- ・梓川は、普通の川だと思っていたけど、山から色々なところを通して流れているんだなあと思いました。松本がこんなに有名な理由が少しわかった気がします。そして、どんどん環境破壊が進んでいる現状を受け止め、これ以上壊さないような行動をしたいと思いました。
- ・今日、どこから川の一滴滴が出ているのかがわかりました。水の一滴滴を大切にしようと思いました。
- ・身近なところがあんなに汚いということに驚き、そして悲しくなりました。川を大切にしたいと思いました。

### (2)の授業後の感想

- ・川には人工物、テトラポット滝の近くの近くなどに思わぬ危険があるということがわかった。
- ・もう少し、川の生き物のことを調べたくなりました。臨海学習でお世話になった漁師さんにも、この学習のことを手紙で知らせたくなりました。
- ・ゴミを拾っていけば海がきれいになるから、ちょっとでも拾いたいと思った。
- ・ゴミを拾い始めたとき、「ぜんぜんないなあ」と思ったけれど、よく見ると集まりだして、どんどん拾いたくなった。
- ・川に生き物がこんなにいることをはじめて知ってびっくりした。どうしてこんなにたくさんの生き物がいるのだろう。川に行くまではそんなになんか思っていたゴミがたくさんあってびっくりした。私は絶対にゴミを捨てないようにしたいです。

## 2 先生方の感想、要望等

担任ひとりでは到底できない川での現地学習を手伝っていただけることや、川を毎日の活動場所にしていて川を知り尽くしている方に専門的なお話をお聞きできることが本当にありがたいです。

<p>授 業 名</p>	<p>水ってなあに？ 『海を守ろうプロジェクト』</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年3組（29名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>熊谷 志帆</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>2月2日（火）</p>	
<p>講師名</p>	<p>株式会社 環境技術センター</p>	
<p>実施概要</p>	<p>自分たちが体験によって目にしている川の水、海の水は、地球全体で考えた場合、どのような状態なのか、どのような動きをしているのか、地球規模でとらえる視点を得る。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①水を蓄える土地と蓄えない土地の様子を表す実験装置に夢中。</p> 	<p>②水に含まれる鉱物の量を班で協力して薬液で実験しています。</p> 
	<p>③どこの水かは知らされなくて、三種類の水を飲み比べています。（きき水です。水道水かな？アルプスの水かな？）</p> 	

実施状況  
(授業風景)

④考えたこと、わかったこと、聞いたこと、真剣に記録しています。



記入者

熊谷 志帆

授業について

授業の感想

「森があると大地が豊かになると聞く」「森と水は関係ありそうだ」「地球上の水は循環している」こういった知識は、社会科で学習したり、資料集で図や絵を見たりしているので頭で理解していますが、実際に本物の水を使った装置や、ドライアイスに雲を見立てた装置でそれを示されると、思わず納得の声が漏れるほどに感心していた子どもたちでした。苦心、工夫を重ねた装置だということも伝わり、子どもたちも大変感謝していました。こうして自分たちの学習に力を尽くしてくださる方々の思いも感じながら、さらに学習を深めていくことができそうです。本当にありがたかったです。

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験
実施学校名	松本市立二子小学校
実施学年、学級 参加人数	3学年 54名
担当者	林 まゆみ 加藤 良知
実施日（期間）	平成27年10月28日（金）
講師名	NPO安曇野ふるさとづくり応援団
実施概要	<p>・ぬかくどご飯の炊き出し・試食 昔ながらの「ぬかくど」釜でご飯を炊き、おむすびを作って食べた。炊き上がるまで、もみ殻を釜に入れる体験をしたり、紙芝居で「ぬか」＝「もみ殻」、「くど」＝「かま」のお話を聞いたりした。</p>
実施状況 (授業風景)	 <p>ぬかくど釜にもみ殻を入れる体験をする。</p>

実施状況  
(授業風景)



安曇野のお米作りのこだわり（無農薬・水など）のお話を聞く。

記入者

林 まゆみ

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ぬかくど釜を分解して、持ち運びができるなんてすごい。
- ・美味しいご飯でおこげも美味しかった。
- ・塩むすびがこんなに美味しいなんて知らなかった。
- ・おむすびを湯のみ茶碗で作って、楽しかった。

### 2 先生方の感想、要望等

- ・社会「昔の暮らし」の学習に関連させて、初の試みでぬかくどご飯炊き体験を行った。お米を研いだこともない児童もいたが、とても興味を持って体験していた。
- ・紙芝居やパネルなど全て用意していただき、分かりやすくとてもよかった。

授 業 名	森林整備指導・マイ箸づくり
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3年2組 24名
担当者	担任 藤原 賢志
実施日（期間）	平成27年7月13日（月）・平成27年8月31日（月）
講師名	寿さと山くらぶ・寿鉋の会
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月13日に学有林に入り、竹林から箸の材料となる竹を切り出し、約1か月間乾燥させた。竹を切り出すとともに、林道を確保するなどの整備を行った。</li> <li>8月31日に、乾燥させておいた竹を用いて箸の作成を行った。のこぎりやなた、小刀を用いて箸を切り出した。その後に行ったぬかくどご飯体験で実際に使った。</li> <li>本当は木で箸を作る予定であったが、学有林を下見する中で、竹林を利用してはどうかという講師の先生の助言があり、竹を使用して箸を作ることとなった。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>伐採してきた竹を、箸の長さに切り分ける</p>  <p>菊割りで、竹を一気に割ります</p>

授業について	記入者	藤原 賢志
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <p>自分たちの学校の敷地内にある竹林の整備も兼ねて、竹を材料とした箸作りを行いました。「四賀の『自然の恵み』を味わおう」というテーマの下、一年間の環境学習を行う中での取り組みでしたが、食材だけでなく、食べるために必要な箸まで作るという活動が、ちょうど今回のテーマに当てはまりました。</p> <p>子どもたちの意識としても、「食材から道具まで、自分たちの手で、自分たちの学校にあるものを用いる」という一連の流れを大事にしなが、1年間の活動に取り組むことができました。自分で作った箸をつかって、自分たちの育てた野菜や四賀でとれた米を食べるという活動も、ただ箸を作るという意味ではなく、総合的な学習としてのテーマに沿ったものとなり、有意義なものになりました。</p> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <p>7月に事前に竹林と一緒に入っていただき、材料となる竹を伐採し、それを夏休み前に干すことができました。活動の事前準備が大変重要な活動であったため、大変助かりました。お世話になりました。ありがとうございました。</p> <p><b>3 その他</b></p> <p>竹だけでなく、スギやヒノキなどの間伐材もあるため、今後は学有林の木についても活動が行えると良いと思いました。</p>	

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3年2組 24名
担当者	担任 藤原 賢志
実施日（期間）	平成27年10月23日（金）
講師名	NPO安曇野ふるさとづくり応援団 自然エネルギーネットまつもと・四賀林研
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>四賀で収穫されたお米を使い、“ぬかくど”を使ってご飯を炊き、それをおにぎりにして食べた。米とぎは生徒によって行った。また自分たちで栽培してきたさつまいもを焼き、四賀で捕獲された鹿の肉を網焼きして食べた。自分の学校の敷地内で、自分たちで作った箸を使い、自分たちで育てた野菜を食べるという流れを行うことができた。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ぬかくどの釜と、鹿肉のバーベキューです</p>  <p style="text-align: center;">たき火をつくり、そこで焼き芋作りをしました</p>

<p style="text-align: center;">授業について</p>	<p style="text-align: center;">記 入 者</p>	<p style="text-align: center;">藤原 賢志</p>
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <p>学校の裏にある学有林や学校内の土地を使って、野菜を育てたり、育てた野菜を調理したりすることをねらいとして行いました。自分たちの学校だからこそできる実習であり、やりがいをもって取り組む様子が見られました。</p> <p>自分たちの学校で、自分たちの力で収穫し、それを食べることに對する喜びを味わうことができました。しかし、そのためにはたくさんの方々のご協力があったのでしたので、同様のことを来年度以降も行えるかどうかは難しいと思います。チャンスがあれば、是非同じ体験をさせてあげたいと思いました。</p> <p>鹿肉を提供いただき、貴重な鹿肉をいただくことができました。四賀に生息する鹿で、農作物に被害を与えているのが現状です。しかし、今回の事を通じて、“命”をいただいて人間は生きているということを学ぶことができました。もちろん鹿という動物だけでなく、米や野菜といった植物も同じであり、四賀の自然によって生きることができていることを体感できたと思います。</p> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <p>講師の方々のご厚意により、費用を最小限に抑え、最高の環境で実習を行うことができました。要望としては、同様の体験をもう一度行っていただきたいということです。大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>ツキノワグマの生態を知ろう <span style="float: right;">【おためしプログラム】</span></p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立安曇小中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>小学校1学年～中学校3学年、9学級、53名</p>
<p>担当者</p>	<p>瀧澤 公也</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年9月14日（月） 5校時 小学校1学年～4学年 6校時 小学校5学年～中学校3学年</p>
<p>講師名</p>	<p>NPO法人 信州ツキノワグマ研究会</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クマの生態等の話を聞く</li> <li>・着ぐるみのクマを相手に、逃げる行動の練習をする</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>クマの生態等の話を聞く</p>  <p>着ぐるみのクマを相手に、逃げる行動の練習をする (代表生徒がやった後、全員で)</p> </div>

# 熊と遭遇「慌てずに！」

## 小中学生が対処方法学ぶ

**安曇** 松本市の安曇小中学校で14日、ツキノワグマの生態を知る授業が行われた。市が平成22年に始めた小中学校環境教育支援事業の一環で、NPO法人信州ツキノワグマ研究会（代表、市開智2）の会員・浜口あかりさんら3人を講師に迎え、児童生徒約50人が熊に遭遇した際の対処や回避方法について学んだ。

「熊を見かけても走らずに、ゆっくりと後ずさりして逃げる」「大声を出して相手を威嚇しない」など、熊に襲われなかった。会員が扮した熊を本物に見立て、遭遇した際に取る行動の悪い例、の悪い例、悪い例を実際に確かめる体験もした。4年生の鶴見冬馬君（9）は「実際に熊を見かけたら、慌てずに学んだことを実践したい」と話していた。



熊の生態について理解を深める児童たち

（松田元樹）

平成 27 年 9 月 16 日（水）市民タイムスより

実施状況  
(授業風景)

記入者 瀧澤 公也

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

「ぼくは子熊なら近づいてもいいでしょーと思っていたんですがいけないようでわかってよかったです。」「熊は危険な動物だと思っていましたが、近寄らなければ安全だということがわかって少し安心しました。」「熊は驚くと襲ってくるということは知らなかったの、この講座をやってよかったですと思いました。」

### 2 先生方の感想、要望等

- ・実際にクマに遭遇した場面を想像しながら対応を考えたり練習したりすることができて良かった。
- ・クイズやクマの着ぐるみなどを使って、小学校低学年の子どもも興味を持って学ぶことができた。

授 業 名	水の生物の観察会
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 48 名
担当者	稲田 祐美 西沢 恵理子
実施日（期間）	平成27年6月22日(月) 9:00～10:50
講師名	川の自然と文化研究所（NPO）
実施概要	<p>目的地：奈良井川脇の湧水 松島橋北側付近</p> <p>目 的：身近な川で生き物探し（主として昆虫類）をすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。</p>
実施状況 (授業風景)	 <p>① 田川小学校から、奈良井川まで移動。途中、川の名前や流れの説明を聞く。</p> <p>② 川原で講師の先生や信州大学の学生ボランティアとの顔合わせをする。</p> <p>③ 湧水に入り、生き物探しをする。タモの使い方を習ったり、生き物がいそうな場所を教えてもらったりする。</p> <p>④ 草が生えているところを足でかき回したり、石を持ち上げて裏を見たりして「ヨコエビ」、トリケラ（トプス）と間違えやすい「トビケラ」、「糸ミミズ」「カゲロウ」「ガガンボ」かわいい「ニジマス」を見つけた。</p> <p>⑤ 担任から、オオカワジシャが特定外来生物だと説明されて、一生懸命抜いて川をきれいに行っている子もいた。</p> <p>⑥ 水温 18 度でよく晴れた日だったので、水着になって水遊びをしたり、川の砂でお団子を作ったりする子もいた。</p>

実施状況  
(授業風景)



- ⑦だんだん先生たちに聞かなくても、自分たちで捕まえ方を伝え合ったり、とった生き物の名を教えあったりしていく子どもたち。
- ⑧最後に、川原で生き物の種類別に分けたトレイを見て、説明を聞く。みんな興味津津で見ていた。

記入者

稲田 祐美

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・子どもたちは、生き物探し・草取り・泥団子作りなど、いろいろな形で川遊びを楽しんでいた。
- ・行くまでは、虫を触るの嫌だな、など心配していた子どもが、いってみたら「水がきれいだったこと」で川の中に入っていき、帰宅後はおうちで「魚がいて〇君が取ったんだよ」などと、楽しかった様子を話した。
- ・子どもたちは「ヨコエビ」「トビケラ」「ニジマス」など、捕まえた生き物の名前をよく覚えた。
- ・ふだんの授業でなかなか良さが発揮できない子が、生き物探しに熱中して生き生きとした姿を見せてくれた。友だちとも仲良く協力して活動できた。
- ・子どもの中には、後日家族に場所を紹介し、家族で川遊びに来た子もいた。校区の近くにある川に親しみを持ってもらえた。
- ・2学期に1年生の学習で何が楽しかったか聞いたところ、川遊びをあげる子が多くいた。

### 2 先生方の感想、要望等

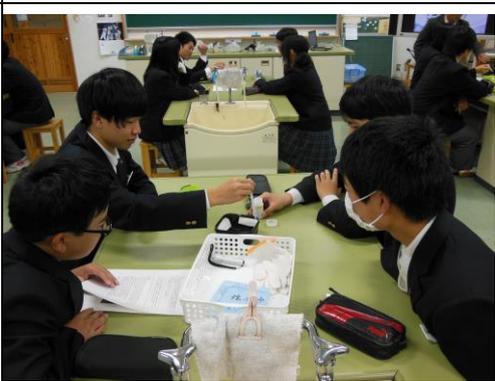
- ・とても良いプログラムなので、来年もぜひ行いたい。
- ・ちょうど6月は川原の整備を地区でも行うので、草刈りが大体済んでいて良かった。この時期に行ったことは良かった。

### 3 その他

講師の2人の先生が採集活動が大好きで、熱意と専門性のある方と活動でき、楽しく川で遊ぶことができた。

準備段階には、学校周りの川を一緒に下見していただき、1年生という発達段階を考えて川を決め、当日は、直前に草を刈っていただいたり、タモやトレイを用意していただいたので、負担もなく実施できた。

川での学習ということで、雨天の場合、水量が増した場合、というように細かく打ち合わせをした。安全第一で学習を進めていただき、当日も子どもたちが疲れる前に採集を終了した。

<p>授 業 名</p>	<p>やさしい放射線の実験教室</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>3年1組 23名</p>	
<p>担当者</p>	<p>松島 裕</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年10月29日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>株式会社 環境技術センター NPO地域づくり工房 傘木宏夫氏</p>	
<p>実施概要</p>	<p>「はかってみよう！身のまわりの放射線 考えよう！私たちのエネルギー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線を見てみよう</li> <li>・放射線とは何か</li> <li>・放射線を測ってみよう</li> <li>・原子力発電とは</li> <li>・いろいろな発電の長所と短所を知ろう</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>①放射線観察装置（霧箱）内をエタノールで湿らせています。装置の中がエタノールの蒸気で満たされ、それがドライアイスなどで均一に冷やされると、放射線の軌跡を観察できるようになります。</p>
		<p>②放射線観察装置（霧箱）です。装置の下にドライアイス置いて、装置内を冷やしています。中にあるのは、ランタンに使うマントルです。マントルから出る放射線の軌跡を観察します。放射線は目には見えませんが、放射線が飛んだ跡に、飛行機雲のような白い筋が残るので、それを観察します。</p>

実施状況  
(授業風景)



③身近なものからどのくらいの放射線が出ているか、特別な機械を使って測っています。これは車から放射線が出ているか調べているところです。放射線が特にたくさん出ているような場所や物はありませんでした。



④原子力発電を含めて、いろいろな発電方法を教えてもらいました。それぞれの発電の長所や短所から、どの発電のしかたを大切にしていきたいと思うか、それぞれの意見をまとめ、発表しました。

記入者

松島 裕

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

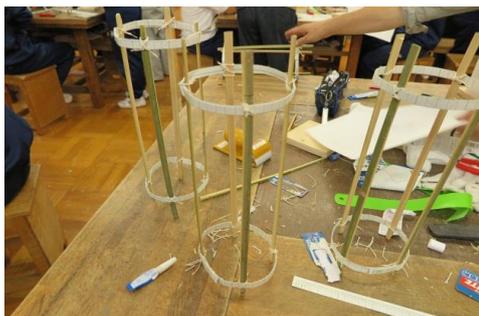
- ・放射線は、自然界から出ている、普段生活している中でも、ある程度の量は浴びていることがわかった。
- ・放射線がどのように見えるのか、最初は何もわかりませんでした。ところが、実験をして実際に見てみると、白くてうすい線が見られ、とても驚きました。
- ・放射線を実際に測ってみて、放射線は身近に存在していることがわかりました。同時にエネルギーの重要性についても知ることができた。そして、エネルギー資源を大切にしていきたいと考えることができた。
- ・放射線は悪いものだと思っていましたが、医療などにも利用されていることを知りました。日本の発電の現状は、火力発電がほとんどの割合を占めていることがわかり、もっと国民に自然エネルギーを利用した発電を知ってもらい、化石燃料などに頼らない国を創ってほしいと思いました。
- ・私たちは、いろいろな資源からエネルギーを取り出していることがわかった。それぞれに長所と短所があることもわかった。この先、未来では、環境によいエネルギーを使う努力をした方がいいと思った。

2 先生方の感想、要望等

- ・原発ゼロは望むところですが、その代わりに行われる発電によって失われる資源や、エネルギーの確保などについて、どのように考え、行動していけばよいか、子どもたちが考えていくきっかけにすることができました。

<p>授 業 名</p>	<p>竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 35名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任：松田 慎也</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年10月22日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>エコネットまつもと</p>
<p>実施概要</p>	<p>竹を骨組みにして、その周りに和紙を貼りつけるキャンドルフードを作った。竹は学有林のものを使用し、細く割って骨組みにした。また、溶けた蜜蝋を紙コップに流し込み、蜜蝋のキャンドルを作った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>適度な長さに切った竹を細く割り、やすりで滑らかにします。</p>  <p>方眼紙で作った輪っかに、たこ糸で竹をくくりつけます。</p> <p>同時進行で、紙コップに溶かした蜜蝋を入れ、冷やし固めます。</p>  </div>

実施状況  
(授業風景)



骨組みの完成

この骨組み作りが一番苦勞しました。

自由に絵や文字を書いた和紙を貼り付け、土台に差し込み、

完成



授業について

記入者

松田 慎也

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

生徒全員が初めての体験で難しさもあったが、楽しく作業することができました。

12月に行われた松本駅前のキャンドルナイトでの展示を楽しみに、自分なりに工夫をして制作することができました。また、蜜蝋キャンドルの温かな明かりで、「見る人の心が癒されればいいな」と感じるすることができました。

学有林の竹を使って作ることで、身近な自然に関心を持つことができました。

2 先生方の感想、要望等

講師の先生方が各班に入って、丁寧に教えていただいたことがとてもありがたかったです。こまかな作業が苦手な生徒やペースがどうしても遅くなってしまう生徒も安心して作業し、作品を完成させることができました。

本来は竹筒を使用するプログラムでしたが、本校の竹に合わせた内容（竹を骨組みに、和紙を貼るタイプ）にさせていただいたこともありがたかったです。初めての試みということで時間は延びてしまいましたが、子どもたちのために工夫を凝らしていただけたということがよくわかりました。

キャンドルナイトも、優しい明かりに包まれ、とても綺麗でした。見に行った生徒も喜んでいました。

<p>授 業 名</p>	<p>マイ箸づくり・裁縫作業指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立島立小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>6学年 2学級 参加人数42名</p>
<p>担当者</p>	<p>6年1組 担任 木村 令子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年11月19日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿鉦の会・松本市ボランティアセンター</p>
<p>実施概要</p>	<p>1、地元の木材を活用し、檜の木の持ち味を肌で感じ、手触りや香を楽しみながら箸作りに取り組んだ。マイ箸作りを通して、貴重な森の資源について考えを深めることができた。</p> <p>2、寿鉦の会の指導で檜の端材をけずって、かんなをかけ、自分だけのマイ箸を作ることができた。</p> <p>3、島立公民館のボランティアの方に来ていただき、手縫いで箸入れを作ることができた。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>木の話</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>切り出しを使って</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かんなを使って</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>丁寧に指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>熱心に集中して</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>気持ちを込めて</p> </div> </div>

実施状況  
(授業風景)



箸袋作り



地域の方と一緒に

授業について

記入者 木村 令子

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- 地域の方が教えてくれて、はし袋を上手く縫うことができた。早く縫えて、びっくりした。
- はし袋を地域の人に教えてもらって、うれしかった。
- 箸は、切り出しナイフで削るのが難しかったけれど、おじいちゃんたちが、きれいに削っていてすごかった。自分で作ったはしをいっぱい使いたい。
- はじめは上手く箸ができなくて、大変だったけれど、いい箸ができて良かったです。
- はし作りは、切り出しナイフで削ってはしの形にし、その作業は、とても難しかったけれど、最後は、納得のいく箸ができて良かった。等

2 先生方の感想、要望等

箸づくりは、図工室で、はし袋作りは、教室で、2時間ずつ交代しながら行うことが出来ました。

(箸作り) かなの会 4人の講師の方

箸作りは、図工室にて檜の香りがただよい、子どもたちは、熱心に箸の制作を進めました。木を使い慣れない子どもたち、切り出しナイフを使っの作業は、初めての作業でしたが、苦労しながらも、かなの会の皆さんに手ほどきを受けながら、削り出していきました。また、かなも扱うことが初めての児童がほとんどで、刃の入れ方や向きに迷って、なかなか上手く削れない児童も何度か試しているうちに、だんだん上達してきました。かなの会の皆さんは、とても丁寧に、子どもたちの様子に合わせて、指導して頂きました。最後まで集中力を途切れさせずに箸を完成させ、子どもたちは、とても満足した様子でした。終わってからも箸をきれいに整えようとかなで削る姿がありました。

(はし袋作り) 島立地区のボランティアの方 10名ほど

はし袋作りは、地域の10名ほどのボランティアの方が参加していただき、子どもたちへ手縫いの箸袋の作り方を教えていただきました。4人グループに2名ついて、手厚く、教えていただきました。地域のおばあさんやお母さんだったので、親しみやすく、上手くできないところも細かく声をかけていただき、また、丁寧に教えていただいたおかげで、完成することができました。

最後は、箸袋の中に自分で作った箸を入れて、とても満足した子どもたちでした。

授 業 名	マイ箸づくり 『うどんやさんの箸を作ろう』	
実施学校名	松本市立梓川小学校	
実施学年、学級 参加人数	特別支援学級（3年生～6年生）20名	
担当者	特別支援学級担任 猿田 千鶴 他3名	
実施日（期間）	平成27年10月7日（水）	
講師名	寿鉋の会	
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の名称や特徴、性質について知る。</li> <li>・用具の名称やナイフやかんな等の安全な使い方について知る。</li> <li>・ひのきの角材を削っての箸の製作。</li> </ul>	
実施状況 (授業風景)		「ひごのかみ」を使ってヒノキの角材を削ります。
		かんなを使って表面を滑らかにします。

実施状況  
(授業風景)



最後にのこぎりで半分に切つて、できあがり。



「うどんやさん」に、なごみ荘の方や先生方、おうちの方を招待し、手作りの箸でうどんを食べていただきました。

記入者

猿田 千鶴

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

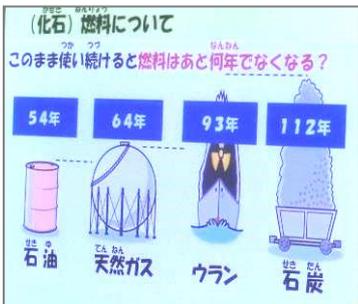
- ・はじめはナイフを使うのがこわかったけれど、やっているうちに慣れてきて、じょうずに使えるようになった。
- ・かんなでけずるのが楽しかった。かんなのけずりかすが、とてもいいにおいがした。
- ・表面をつるつるすべすべにしたいくて、いっしょうけんめいがんばった。
- ・二本目は作り方がわかって、自分一人でも進められてよかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・講師の方や担当の方が事前に来校し、丁寧に打ち合わせを行ってくださったおかげで、準備が十分でき、当日もスムーズに運営することができた。
- ・講師の方には材料や道具をしっかりとご用意いただき、子どもたちは安全に作業を行うことができた。
- ・とても親切にわかりやすく子どもたち個々に合わせて教えて下さり、よかった。一人一人が完成できるように、丁寧に支援して下さった。
- ・木に触れること、道具に触れること、物を手作りすること、それを使ってみることで、どれも子どもたちにとって新鮮で貴重な体験だと感じた。
- ・自分たちで作った箸を、後日おこなった「うどんやさん」のお客さんに使用していただき、褒めてもらったことで、子どもたちは更に満足感を得たようであった。



<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>縫い方の指導を受ける</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出来上がった箸袋</p> </div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>高橋 和幸</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、箸づくりをなめていて 30 分ぐらいでできると思っていたけど、すごく時間がかかりました。自分の腕で作ったものだから愛着がわきました。この箸を大切にしようと思います。</li> <li>・少し難しかったけど自分の箸ができました。家に帰ってみせるとお母さんが「すごいね」と言ってくれました。ずっと大切に使用したいです。</li> <li>・鉋の会の先生にいっぱい聞いて、うまくどうしたらできるか知ることができました。これからは、家族全員分を作りたいのと、他の材料で作って比べてみたいです。</li> <li>・かんなの会の人の方が分かりやすく教えてくれたので、自分ではいいのができたと思いました。私はマイ箸を作る楽しさとエコをいろいろな人に知ってもらいたいなと思いました。</li> <li>・針と糸を使うのは初めてだったけど、ボランティアの方たちがとても丁寧にやさしく教えてくれたので、上手に出来上がりました。</li> <li>・私の家にあったお気に入りの模様の端切れで箸袋ができました。これからはマイ箸を入れて持ち歩きたいなと思います。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寿鉋の会の皆さんは、念入りな下見と打ち合わせを行い、どうしたら子どもたちが安全に、楽しくできるかを考えてくださった。様々な治具の準備や切れ味のよい刃の調整などから、道具を大切にすること、ものづくりは工夫が大切であることも学んだ。</li> <li>・マイ箸も箸袋も全員が時間内に完成し、達成感を味わうことができた。</li> <li>・環境問題をこれから考えていくための入り口として体験したが、この実習を通して身近なものやことから「もったいない」に気づく視点を獲得することができた。この後、環境に関する学習を続け、その成果を 11 月に全校に向けて発信した。</li> </ul>		

<p>授 業 名</p>	<p>あかりのエコ教室 <span style="float: right;">【おためしプログラム】</span></p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>6年1組 35名</p>
<p>担当者</p>	<p>大王 雅喜</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年11月11日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>パナソニック株式会社 エコソリューションズ社</p>
<p>実施概要</p>	<p>・白熱灯、蛍光灯、LEDの仕組みや消費電力の違い等について、講師の話や実験を通して理解し、日常生活でできる節電について実践しようとする意識をもつことができる。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①電気エネルギーのほとんどは、限りある化石燃料を利用して得られていることを知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="469 1151 887 1464"> <p>(1) </p> </div> <div data-bbox="943 1151 1417 1456"> <p>(2) </p> </div> </div> <p>②白熱灯、蛍光灯、LEDであかりをつけるには、手回し発電機を使うと何人でできるか実験する。また、スイッチをオンにして点灯したときの使用電力を計測して数値を記入する。これらの活動から、白熱灯と蛍光灯とLEDを比べると、LEDが非常に効率よく電気を使っていることを知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="469 1711 940 2024"> <p>(2) </p> </div> <div data-bbox="967 1702 1398 2024"> <p></p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>③白熱灯、蛍光灯、LEDの仕組みを知り、LEDの有用性について理解する。</p> <p>(③)</p>  <p>LEDに電気が流れると、プラスの電気とマイナスの電子が合体し、そのときのエネルギーで光が出ます</p> <p>④「今日の授業でならったことを1週間おうちでやってみよう。」というめあてで、チャレンジシートに記入する方法について、説明を聞く。</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="478 929 1473 1003"> <tr> <td>記入者</td> <td>大王 雅喜</td> </tr> </table> <p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を消すとエコになって電気代が安くなることが分かった。省エネでこれ（チャレンジシートを使っての1週間の節電活動）をやってみたらとても楽しかった。</li> <li>・LEDがとってもエコですごいと思った。</li> <li>・LEDは、20年すると1個ずつ替えればいいなんてビックリ。</li> <li>・信号機がLEDを使っているなんて知りませんでした。</li> <li>・電気は作るのに資源が多く使われるので、つけっぱなしは、よくないことが分かって良かったです。</li> <li>・白熱灯、蛍光灯、LEDについて面白かったところは、手回し発電機は、3人、2人、1人と少なくなっていき、電気の測定値も56W、15w、6wと少なくなると面白く、LEDが1番エコにつながることは、初めて知った。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を作るのに限りある資源を使っていること、白熱灯と蛍光灯とLEDで使う電力量の違いを実感できること、普段の生活で節電できること等を楽しく学ぶことができる。普段の授業で理科が得意でないと思われる児童にも良く理解できていた。</li> <li>・学習内容は、6年生で学ぶことであるが、3～4年生でも、十分に理解できる内容であると思う。</li> </ul>	記入者	大王 雅喜
記入者	大王 雅喜		

<p>授 業 名</p>	<p>生ゴミ処理機を利用した堆肥作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立中山小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年 1 学級      参加人数 21 人</p>
<p>担当者</p>	<p>柿沼 佑樹</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年6月4日(木)～10月16日(金)（※生ゴミ投入期間）</p>
<p>講師名</p>	<p>株式会社 キクイチ</p>
<p>実施概要</p>	<p>生ゴミ処理機を使って 家庭から出た生ゴミで堆肥を作る活動</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="459 1122 1066 1579" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1070 1151 1474 1447" data-label="Text"> <p>6月4日(木) (株)キクイチの百瀬さんにお越しいただき、生ゴミ処理機「はらぺこくん」の使い方や、どのように堆肥が作られるのかについて説明を聞く。</p> </div> <div data-bbox="464 1666 863 1917" data-label="Text"> <p>留意点や説明を聞いた後、実際に持ってきた家庭から出た生ゴミを処理機に投入。この日から約4ヶ月間、当番制で処理機への生ゴミ投入が始まる。</p> </div> <div data-bbox="876 1592 1455 2022" data-label="Image"> </div>

実施状況  
(授業風景)

投入前に生ゴミの重さを量り、投入。蓋を閉めない  
と攪拌の様子はわからない  
ものの、攪拌終了後のおが  
屑と生ゴミが混ざり合う様  
子を確認。



現在、堆肥の受け取りを  
待っている状況。完成次第、  
学校にて受け取り、堆肥の  
状態や様子を確認する予定。

記 入 者

柿沼 佑樹

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・「はらぺこくん」に生ゴミを投入していても、しばらくすると生ゴミのにおいがなくなっていてびっくりした。
- ・生ゴミを家から持ってくるのは少し大変だったけれど、堆肥にすることができてよかった。
- ・まだ堆肥を受け取っていないけれど、受け取ったら、自分達の入れた生ゴミがちゃんと堆肥になっているか確認したい。
- ・生ゴミを堆肥にすることで、ゴミを減らすことができてよかった。
- ・堆肥を受け取ったら、次に作る花や野菜のよい栄養になるようにまいてあげたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・生ゴミ処理機で作られた堆肥の効果について詳しく教えていただき、大変参考になりました。
- ・目には見えないものの、微生物の働きから生活に役立つ堆肥を作り出すことができる生ゴミ処理機の性能に驚きを隠せませんでした。
- ・社会のゴミ学習と関連させて本取り組みを行うことができ、ゴミを減らすための1つの手段として有効であることを感じる事ができましたと思います。
- ・学校としても、職員室から出たお茶っ葉や余剰分の給食の残りなどを投入することができ、堆肥作りに一役買うことができたと思います。ありがとうございました。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>特別支援学級 27名</p>
<p>担当者</p>	<p>柳沢 真美子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年11月4日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>・木の年輪やバウムクーヘンの由来についてのお話を聞き、野外でバウムクーヘン作りを行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①木の年輪やバウムクーヘンの由来についてのお話を聞いた。 ②子ども達が交代で材料を混ぜ、バウムクーヘンの生地を竹につけて、炭火で焼いた。2人ひと組で竹の棒をもち、焦げないように竹を協力して回した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>始めのお話を聞く</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バウムクーヘンを焼く</p> </div> </div> <p>③交代で木の名札作りをした。 ④焼けるのを待つ間、自然や野生の動物についてのお話を聞いた。</p> <div style="text-align: center;">  <p>木の名札作り</p> </div>

実施状況  
(授業風景)



自然についてのお話を聞く

- ⑤バウムクーヘンを味わった。
- ⑥おうちへお土産を持ち帰り、家族に今日の体験談を話すことが宿題とされた。

記入者

柳沢 真美子

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・木の年輪やバウムクーヘンの由来についてのお話は、興味をもって聞いている子どもが多かったが、お話が長くなると集中して聞くことが難しくなった。
- ・バウムクーヘン作りはどの子どもも喜んで取り組んでいた。そして焼くときに予想以上に熱いことに驚いていた。
- ・木の名札作りも喜んで取り組んでいた。

### 2 先生方の感想、要望等

- ・日ごろはなかなかできない体験をすることができ、子どもたちが楽しく学ぶことができた。
- ・大勢の講師の方が来て下さり、準備から片づけまでしていただいて、本当にありがたかった。また、非常に温かい対応をして下さり、子どもたちも伸び伸びと活動することができた。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年 2 学級(1 組 2 6 名、2 組 2 5 名)</p>
<p>担当者</p>	<p>4 年 1 組担任 池田 大二</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>平成 2 7 年 1 1 月 1 8 日 (水)</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 木に関する学習          ・木の成長について。          ・年輪のつき方とバウムクーヘンの関連性について。          2 バウムクーヘン作りの体験学習。          ・材料や火の扱い方、声のかけ方など指導を受け、各クラス二つのグループに分かれてバウムクーヘン作りを行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>全体説明の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>卵割りについて指導を受ける</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>割った卵をかき混ぜる</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>材料を竹にぬって焼き上げる</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>次々に焼く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>生地を竹から抜いている</p> </div> </div>

実施状況  
(授業風景)



切って完成！その後はおいしく試食

記入者

担任 池田 大二

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・バウムクーヘン作りのことがよく分かったし、おいかったし楽しくできて良かった。
- ・お話がとてもわかりやすかった。
- ・竹にぬって、炭で焼く時にとっても顔が熱かったけど、がまんして焼いていたらおいしそうなおいがしてきてとても楽しかった。  
(他に実際の姿として、学校にある切り株の年輪を数える子供がたくさんいた。)

### 2 先生方の感想、要望等

- ・準備段階では、子供達がケガ・やけど無くできるように、安全面にまで気を配ったり、材料費支払いについてのシステムが変わっていることにまで心配をして連絡を下さったり、細やかな気遣いが大変に有難かった。
- ・当日は、3名の方々が、時には子供の手を取って具体的に指導して下さり、子供達も安心して体験することができたと思う。

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り（キノコ学習含む）
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組 26名
担当者	担任 山崎 博之
実施日（期間）	平成27年10月29日（木）
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	竹を心棒としてそれに原料を塗りながらバウムクーヘンを作ることを行った。バウムクーヘンを焼きながら、同じ炭火を使って、学級の畑で育てたサツマイモを焼き芋にした。また、学有林を探索し、キノコについての学習も行った。
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="477 1077 855 1581" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="933 1126 1366 1292" data-label="Text"> <p>学有林から切ってきてもらった竹に、小麦粉、卵などで作った原料を塗りつけ、竹を回しながら焼いていきます。</p> </div> <div data-bbox="477 1610 924 1946" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1003 1675 1390 1971" data-label="Text"> <p>一人一人交代で竹を回しながら、塗り重ねていきます。太いバウムクーヘンが焼けてきました。火の中に見える銀紙は、クラスの畑でとれたサツマイモです。焼き芋にしました。</p> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	  	<p>バウムクーヘンが完成しました。上手に焼けました。中まで火が通っています。</p> <p>学有林の中でキノコも採りました。椎茸、栗茸などが採れました。毒キノコも採って、山から下りてきてから講師の先生に見分け方を教えていただきました。</p> <p>バウムクーヘンをおいしくいただきました。自然の恵みを感じたり、環境への意識を高めたりできました。</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="478 1008 1473 1079"> <tr> <td data-bbox="478 1008 715 1079">記入者</td> <td data-bbox="715 1008 1473 1079">山崎 博之</td> </tr> </table> <p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b>  生徒全員が楽しく活動に取り組むことができました。  バウムクーヘン作りでは、心棒の竹をくるくる回しながら、原料が焼き上がって完成していく過程を実際に体験できて、楽しかったようです。また、昔は、バウムクーヘンを、時間をかけたり煙に巻かれたりしながら苦勞をして作り上げていたことを実感でき、食べ物を大切にしなければいけないと考えた生徒も多かったです。キノコ学習では、実際に山に入り、食べられるキノコや毒キノコの見分け方を学びました。近くの山に、おいしいキノコがたくさんあることがわかり、山の大切さを実感できたようです。</p> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b>  講師の方に苦勞して準備していただき、大変助かりました。  また、丁寧に説明していただき、生徒達が身近な体験から環境への理解を深めることができ、とても有意義な時間になりました。計4名の方に来ていただき、2班に別れて活動したことで、全員の生徒が時間の無駄なく安全に学習できたことも良かったです。</p>		記入者	山崎 博之
記入者	山崎 博之			

<p>授 業 名</p>	<p>木材の活用法 <span style="float: right;">【おためしプログラム】</span></p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年4組 30名</p>
<p>担当者</p>	<p>守矢 久美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年10月14日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市林業士会</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山で見られる樹木や木の実の種類・特徴・見分け方の学習</li> <li>・自然の材木と木の実を使って、鉛筆立てとストラップをつくる活動（木材の切断と穴開け、木の実の接着）</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>できあがった鉛筆立て</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>どの材料を使おうかな</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ドリルで穴開け 初体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>力を合わせて丸太切り</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	教頭 大槻 久
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の木材で鉛筆立てをつくと聞いてどんな物ができるかと思っていたが、やっていく内に、自然の素材を使ってたくさんアレンジしてすごく楽しくなった。どんぐりや松ぼっくりなどの素材選びが、特に印象に残った。</li> <li>・木を切るときに、のこぎりを押す感触や音がすごく心地よかった。</li> <li>・森の中にあるものがかもし出す美しさを知ることができた。</li> <li>・この体験をしてから、木でできたインテリアに興味をもち、今住んでいる木の家がもっと好きになった。将来は、こんなすごいものを作り出す「木」を守る活動に取り組みたい。</li> <li>・いろいろな人がていねいに教えてくれたので、かわいくできた。松ぼっくりだけでも三つぐらい種類があって、それに松ぼっくりは湿度が高いと閉じる、乾燥していると開くというような豆知識も教えてもらった。</li> <li>・鉛筆立てに、どんぐりなどの自然のものを使うのは、環境にやさしい物作りだし、工夫ができてとても楽しかった。</li> <li>・作っていて、自分も森にいるような気がした。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の準備から、当日の段取りまで全て講師の先生にやっていただき、ありがたかった。担任では、あれだけの材料や道具を用意することはできないし、また、5名に一人ずつの講師の方が来ていただいたので、安全面でも、つまずいたときの支援の面でも、手厚く見ていただくことができた。</li> <li>・初めての体験だが安心して取り組めたので、木材を切ったりする楽しさだけでなく、森の中にある自然の素材を使う楽しさまで、子どもたちは感じることでよかった。</li> <li>・この活動があったおかげで、平成28年度の全国植樹祭へ子どもたちが関心をもつことができた。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校のような学年5クラスもあるところではお願いするのも心苦しいが、学年どのクラスもこうした体験ができるとありがたい。</li> </ul>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導 『グリーンカーテンで、夏も涼しく』
実施学校名	松本市立中山小学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組 21名
担当者	担任 林 真紀子
実施日（期間）	平成27年5月11日（月）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンカーテン（緑のカーテン）とは何か説明していただきながら、子どもたちも環境について考えることができた。</li> <li>・「暑い日にクーラーをつけるが、室内だけが涼しくなるだけで、外の温度は上がって行ってしまふ。しかし、グリーンカーテンは室内も室外も涼しくしてくれる。よって電気代の節約になる。また、緑は二酸化炭素を吸い酸素がつくられるため、環境にも人にもやさしい。」ということを学んだ。</li> <li>・その後、教室前の花壇にアサガオの種まきを行った。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>奥原さんによるグリーンカーテンについての授業</p>  <p>奥原さんに教えていただきながらアサガオの種まきをする児童</p>

記入者

2年担任 林 真紀子

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・グリーンカーテンって、部屋の温度が低くなるんだ。
- ・グリーンカーテンって電気代の節約にもなるんだ。
- ・緑って、わたしたちが吸う酸素を作ってくれているんだ。
- ・クーラーは、自分だけが涼しいけど、家の外がどんどん暑くなっていっちゃうんだ。
- ・グリーンカーテンはいいことがいっぱいだね。
- ・アサガオのつるがどんどのびてきたね。
- ・早くグリーンカーテンができるといいなあ。
- ・アサガオの花が咲いたよ。
- ・葉っぱがしなってきたよ。一日に2回、水やりをしたほうがいいね。
- ・きゅうりも植えたいな。
- ・きゅうりの花も咲いてきたよ。
- ・きゅうりの漬物、おいしいね。
- ・アサガオの種がたくさんできていたよ。
- ・来年もたくさん咲くといいね。

### 2 先生方の感想、要望等

講師の奥原さんには、グリーンカーテンについて、パワーポイントを用いて子どもたちに分かりやすくご説明いただいた。今、環境問題として取り上げられている「地球温暖化」についても考えることができ、身近にできることは何か体験できたことは、子どもたちにとって大きな収穫となった。昨年は一人一鉢、アサガオを育てたが、今年はグリーンカーテンとして皆で水遣りを行った。途中からきゅうりやゴーヤも植えた。花や実がなったときには、とても嬉しそうに皆に報告している姿があった。夏の強い光もグリーンカーテンを通すと、とても穏やかに差し、緑に心を癒された。また夏の運動会の練習の後のきゅうりの漬物は、格別においしかったようだ。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 4 8 名 特別支援学級 1 2 名 計 6 0 名
担当者	稲田 祐美 西沢 恵理子 神屋 忍
実施日（期間）	平成 2 7 年 5 月 1 2 日 (火)
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>「地球温暖化」「太陽光発電」「リサイクル」「ハイブリッド」などの言葉が当たり前のように使われ、環境問題に関心をもつ子ども達も増えてきている。子どもたちの中には、自分でできることからエコ活動に取り組んでいる子もいる。また昨年度本校に太陽光発電パネルを設置していただき、子どもたちがモニターを見ては発電量を確かめる様子が見られた。しかし、様々な情報はあっても、子どもたちがそれを生活の中に活かしていくにはまだまだ難しい面がある。そこで「みどりのカーテン」づくりを通し、低学年のうちから体験を通しながら、環境やエネルギーの節約について学ぶ場が大切ではないかと考える。「みどりのカーテン」に取り組む中で、夏の日差しの強い期間に、日かげのありがたさを実感し、エコ活動を生活の中に活かしていこうとする素地を身につけさせたいと考えている。</p>
実施状況 (授業風景)	<p>「緑のカーテン」について、造園の方のお話をお聞きしました。</p> 

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>夏に、涼しいカーテンになるといいな。</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="486 813 1476 891"> <tr> <td data-bbox="486 813 715 891">記入者</td> <td data-bbox="715 813 1476 891">西沢 恵理子</td> </tr> </table> <p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオの葉が茂るとカーテンのように日差しをさえぎることができる→自然の日陰ができる→教室の中が涼しくなる→電気をつかう量がへるので地球に優しい、という「緑のカーテン」の効用を教えていただいた。</li> <li>・子どもたちの中にはネットの色が緑なので「緑のカーテン」と思っていた子もいたが、お話を聞いてわかったようだった。</li> <li>・花壇の土に人差し指を立て、第2関節まで穴を開け、そこへアサガオの種をまいた。全員が経験でき、嬉しそうだった。</li> <li>・「大きくなあれ」と言いながら種をまいている子もいた。</li> <li>・キュウリの苗も一緒にいただき、育てたので、クラスで食べることができた。子どもたちは大喜びだった。</li> <li>・子どもたちは教室の窓から、大きくなっていくアサガオを観察していた。夏には屋根よりもツルが伸び「あんな所まで伸びている」と驚いていた。</li> <li>・「緑のカーテン」の内側から見る景色も楽しんでいただようだ。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使っの授業だったので、とても分かりやすかった。子どもたちもその後の種まきだったので、一生懸命活動していた。</li> <li>・自分たちの住んでいる地球について意識が向くような、こういう取り組みは良いと思う。低学年のうちが特に望ましい。</li> <li>・いただいた種をまくには花壇が小さかったので、かなり間引きが必要だった。たくさんいただいたのに勿体なかった。</li> </ul>	記入者	西沢 恵理子
記入者	西沢 恵理子		

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立島内小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 3 学級 104名 2 学年 3 学級 101名
担当者	担任 齋藤 一弥 岡村 亜紀 滝口 雅彦 櫻井 壽一 大月 まゆみ 青島 いづみ
実施日（期間）	平成27年5月13日（水）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントにより、わかりやすいイラストを見たりお話を聞いたりしてカーテン設置の意味やその効果について学習した。</li> <li>・種のまき方とそのあとの育て方（水のあたえ方、つるの増やし方など）についての説明を聞く。</li> <li>・実際に、カーテン設置場所にて、種のまき方の指導を受ける。</li> <li>・以後、各学級により世話を進めた。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="445 1099 935 1464" data-label="Image"> </div> <p>体育館に集まり、奥原造園さんから、緑のカーテンとは何か、何のためにやるのかなど、わかりやすいお話を聞き、学習しました。</p> <div data-bbox="432 1541 932 1912" data-label="Image"> </div> <p>講習会の後、学級ごとに外に出て、種まきをしました、教えていただいたとおりに、土に穴をあけて、小さなアサガオの種を大切に蒔きました。</p>

実施状況  
(授業風景)



「早く芽が出てね。」と声をかけたり、「いつ芽がでるかな。」と楽しみにしながら蒔いていきました。



毎日水をあげたり草とりをしたりしながら世話をしました。だんだんと大きく育ち、花も咲き出してきました。夏休みの間は、当番を決めて、みんなで世話を続けました。休み時間には、アサガオの花の色水遊びをしたり種とりをしたりして楽しみました。

記入者

大月まゆみ

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・アサガオの種まきをととても楽しみにしていた。ひとりひとりが種を蒔くことができうれしかったようである。
- ・芽が出でくるととても喜んで、水やりなども一生懸命やっていた。
- ・大きく育って教室が涼しくなるといいなど、成長を楽しみにしていた。
- ・花が咲き出すと毎朝ベランダに出てアサガオの様子を見ることを楽しみにしていた。

2 先生方の感想、要望等

- ・1年生は、ひとり一鉢のアサガオも育てていたのも、より興味関心が高く生活科としての学習を発展させることができた。
- ・講習会ではパワーポイントを使ってわかりやすく話していただいたので、低学年の子どもたちも視覚的に理解しやすかった。
- ・1年生は、ひとり一鉢のアサガオも育てていたが、緑のカーテンのアサガオが毎日たくさん咲いたので、色水遊びがたくさん楽しめたり、アサガオのリースづくりのときにも利用することができてよかった。
- ・色とりどりのきれいな花がさき、ベランダにカーテンができて環境がとてもよくなった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立四賀小学校
実施学年、学級 参加人数	4～6学年 73名
担当者	宮坂 到
実施日（期間）	平成27年5月13日（水） 11:00～12:30
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントで地球温暖化の現状や将来の予想を知る。</li> <li>・緑のカーテンの効用を知る。</li> <li>・朝顔・西洋朝顔・ひょうたんの播種・定植を行う。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>・地球の平均気温が高くなる地域は赤や白の色がついています。平均気温が下がる地点は一つもなく、地球規模で平均気温が上がっていくことがよく分かりました。</p> <p>・緑のカーテンを設けることで、節電や二酸化炭素の削減が期待できることを、お話と映像を通して教えていただきました。</p>

実施状況  
(授業風景)



朝顔が大きく育つようにと一粒ずつ丁寧に播種しました。

記入者 宮坂 到

授業について

### 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・2100年にはすごく暑くなってしまうことが分かった。びっくりした。このままではいけない。
- ・何とか地球温暖化を防ぎたい。
- ・こまめに節電をしようと思う。
- ・緑のカーテンって、いいな。
- ・種をまく時に一粒落としてしまった。悲しかったけど、大きく育ってくれるといいな。
- ・朝顔の種をもらったので家でも緑のカーテンを作ろうと思う。

### 2 先生方の感想、要望等

- ・竹やネット、種子や苗などの準備や棚の設置を全て行っていただき、ありがたかった。
- ・クーラーやガスを使うことで地球温暖化につながるということが分かりやすく説明されていてよかった。低学年向けの資料だと聞いたが、高学年でも十分使える資料だと感じた。
- ・地球温暖化の説明は本年度で2年連続だったが、資料は昨年度とは違うもので、内容も幾分簡単にさせていただいた。ありがたかった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 1 2 5 名
担当者	田村・田中・宮澤・中沢
実施日（期間）	平成27年5月14日（木） ～ 11月中旬まで
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>①緑のカーテンの効用についてのガイダンス講習会</p> <p>②緑のカーテンにふさわしい植物</p> <p>③種蒔きのしかた</p> <p>④生活科の学習を通して単元名「あさがおさんとなかよし」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の水やり（あさがおさんおはよう作戦）</li> <li>・色水遊び ・たたき染め ・たねとり ・リースづくり</li> <li>・あんどん作り（2月末実施予定）</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	<p>○5月14日 緑のカーテン講習会及び種蒔き</p> <p>写真①講習会</p>  <p>・奥原造園さんに来ていただき、緑のカーテンの効用や適した植物を教えてくださいました。</p> <p>写真②種蒔き</p>  <p>・講習会のあとに、早速外へ出て種蒔きをしました。</p> <p>「ちゃんと芽を出してね。」と声をかけながら、みんなであさがおの種を蒔きました。今年はキュウリの苗も一緒に植えました。</p> <p>写真③水やり</p>  <p>・登校すると、毎朝「あさがおさん、おはよう。」と声をかけながら、水をあげて大切に育てました。</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○立派に育ったあさがおさんで色水遊びやたたきぞめ 写真④</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さが増した夏も緑のカーテンのおかげで涼しかったよ。</li> <li>・色水遊びも楽しかったよ。</li> <li>・たくさん花が咲いて、たたきぞめもできたよ。</li> </ul> <p>○育ったあさがおさんからたくさんのプレゼント 写真⑤自分人形で遊んだよ</p>  <p>写真⑥リースづくり</p>  <p>○たった一粒の種からたくさんの種がとれたことに大喜びの子ども達でした。ネットの片付けにあたって、リースも作り、手元に残る形となりました。「あさがおさん、ありがとう。」</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="454 1111 1471 1182"> <tr> <td style="width: 15%;">記入者</td> <td>田村 友里</td> </tr> </table> <p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間、たくさんあさがおさんとなかよくなれたよ。</li> <li>・水やりをするときに、毎日「早く大きなあれ。」って声をかけたよ。</li> <li>・一つぶのタネからたくさん花が咲いてびっくりしたよ。葉っぱがカーテンになって、すずしかったよ。</li> <li>・キュウリも食べられて、おいしかったよ。うれしかったよ。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちががんばって水やりをして、立派な緑のカーテンが出来ました。週末の水やりが大変でしたが、ぐんぐんと成長するあさがおの生命力や景観の良さに、子どもたち共々、素晴らしい経験をさせていただきました。</li> <li>・是非、来年度もこの活動を継続して下さい。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥原造園さんには、アサガオのネットの設営から片付け及び丁寧な講習会と大変お世話になり、ありがとうございました。</li> <li>・ここ数年毎年お願いしているので、前年度のタネがこぼれて、たくさん芽が出るようになっていきます。子どもたちが蒔いたタネがどれかがわかるように花壇を整備しておくことが必要かと思いました。</li> </ul>	記入者	田村 友里
記入者	田村 友里		

授業名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立開智小学校
実施学年、学級 参加人数	4学年 28人
担当者	小嶋千恵子
実施日（期間）	平成27年5月18日（月）～11月下旬
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンがなぜ必要なのか、地球温暖化の視点より、奥原造園の方からお話を聞く。</li> <li>・緑のカーテン作りの実際。（種のまき方、水の与え方、つるの増やし方、肥料の与え方等）</li> <li>・該当学級で当番を決めて、世話をし、朝顔を育てた。</li> <li>・2階ベランダへのネットの設置、取り外しをやっていただいた。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>奥原造園の方より地球温暖化についてのお話を聞く。</p>

実施状況  
(授業風景)



- ・土に肥料を混ぜ込み種まきを行った。水をまいたところにおよそ5センチ間隔で2粒ずつの種をまいた。
- ・水やりと間引きなど世話を続けた。
- ・苗を大事に育てたいと、柵を作って立てたり、ポスターや看板を作って踏まないよう呼びかけたりなどの活動も行った。

記入者

小嶋 千恵子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・1年生のときに一人一鉢で朝顔を育てたことがあるが今度はクラスのみんなで協力して緑のカーテンを茂らせたい。
- ・地球温暖化という言葉は聞いたことがあったけれど、どういうことか少しわかった。
- ・地球温暖化があんなに進んでいるとは思わなかった。このままだと大変なことになってしまうので、できることをやっていきたい。

2 職員の感想、要望等

- ・種まきの2階ベランダへのネットの設置を事前に行っていただいた。また、取り外しもやっていただいたのでありがたかった。
- ・葉と花の大きさが小さかったので大輪の花の種もあるとありがたい。
- ・職員室の西側に作ったが、西日が当たる場所で、水くれに苦労した。
- ・去年の反省から多めに肥料を入れたが、地面を20センチメートルほど掘ると砂利が出てきてしまうので、来年は土作りをお願いできるとありがたい。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立本郷小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 4 4 名
担当者	小笠原 督
実施日（期間）	平成27年5月15日（金）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンとは何か</li> <li>・緑のカーテンの良さ</li> <li>・緑のカーテンの設置方法の座学と実際の種植え</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>パソコンのデータを使いながら、みどりのカーテンの良さや役割を詳しく説明してくれている。</p>

実施状況  
(授業風景)



花壇に植える前に、手順を説明してくれている。

記 入 者

小笠原 督

授業について

**1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等**

- ・あさがおの花がたくさん咲いて、きれいだった。
- ・種がたくさん取れてよかった。
- ・でかいもむしがいた。
- ・カミキリムシがいた。
- ・色水を作るのが楽しかった。

**2 先生方の感想、要望等**

- ・あさがおは花もたくさん咲き、種もたくさん取れて良かった。花は色水を作ったり、種を卒業生や来年の1年生用に採集して、楽しめた。
- ・同時に植えたきゅうりと千成りひょうたんは、人数分とれず、工作などに利用することができなかったのが残念。

**3 その他**

- ・途中で、育てる際のアドバイスなどいただけると良かった。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1学年4クラス、特別支援3クラス、4学年1クラス 合計182人</p>
<p>担当者</p>	<p>教頭 大槻久、 理科係 伊藤春樹、 1年主任 板花茂子、 4年5組担任 平出葉子 、特別支援主任 勝俣静子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年5月15日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 株式会社 奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンをつくることよさを学ぶ</li> <li>・アサガオの種のまき方を学び、立てていただいた支柱やネットの下に一人ずつ種をまいた。</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「緑のカーテン」って何？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>種をまこう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>きれいな花が咲いたね</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カーテンになりました</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	教頭 大槻 久
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の鉢のアサガオだけでなく、花壇で育つアサガオにも進んで水をあげていた。特に、芽が出るまでの花壇に水やりを熱心にあげたのは、「緑のカーテン」の説明をしてもらったおかげだと思う。</li> <li>・花がさくと、子どもたちは、ビニール袋に花と水を入れて色水づくりを楽しんだ。</li> <li>・種がこぼれると、競って集めようとする子どもがたくさんいた。家や地区の公園等に持ち帰ってまいたりすると、次年度を楽しみにしていた。</li> <li>・自分の鉢のアサガオは、花を育て大事にすることだけが目的になるが、たくさんの花があったので、自由に思い思いの関わりができた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンのおかげで、夏涼しく過ごすことができた。</li> <li>・目の前に植物があることで、癒やされた。</li> <li>・校庭に面した教室では、校庭の諸活動が子どもの目に入らず、砂埃の侵入を和らげて、授業に集中しやすい環境づくりの助けになり、ありがたかった。</li> <li>・枯れたツルがたくさんあったので、担任の意向で、リースづくりに利用できたクラスもあった。</li> </ul>	

<p>授業名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 29名 2年1組 25名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 塩原千史 2学年担任 中山 豊</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年5月26日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 緑のカーテンによる日陰があることで、教室が涼しくなったり、温暖化対策になったりすることをプレゼンテーションしてもらいながら学んだ。 2 実際に種を蒔いて、水やりをした。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>温暖化防止対策について勉強中</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>一人ひとり種を蒔きました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>立派なカーテンができました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>たくさんの種がとれました</p> </div> </div>

授業について	記入者	2学年担任 中山 豊
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん水をあげて、早く芽が出てくるといいな。</li> <li>・去年もやったけど、今年も、去年みたいに、立派なカーテンができるといいな。</li> <li>・家でも、今年は、緑のカーテンを作ってみようかな。</li> <li>・ぼくの家も、緑のカーテンを作っているけど、学校みたいに大きくはできないから、大きく育つのが楽しみだな。</li> <li>・去年は、たくさん種がとれたから、今年もたくさん種がとれるといいな。</li> <li>・緑のカーテンで、日陰ができて、少しでも教室の中が涼しくなってくれるといいな。</li> </ul> <p>※1年生はたくさん種をとっていて、とてもうれしそうでした。2年生は、緑のカーテンについての幼虫が気になって、男の子たちが見つけてはとっていました。</p> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <p>奥原さんには、昨年同様、どうして緑のカーテンを作ると温暖化対策になるのかということを教えていただいた。2年生は去年も聞いているが、改めて緑のカーテンの大切さに気づいた様子だった。とても気さくに子どもたちにも話しかけてくださり、子どもたちの中から自然と質問が出たり、作業内容について聞いたりすることができた。</p> <p>昨年に比べ、緑のカーテンがあまり大きく成長しませんでした。子どもたちも、少しがっかりしていました。水も、昨年のようにあげてはいましたが、その年の雨の量やお日様の当たり具合、肥料にもよるのかな？と思います。それでも、子どもたちは芽が出てくると大喜びして、どんどんつるを伸ばしていくアサガオの様子に目を輝かせていました。特に、今年、初めて緑のカーテンを育てる1年生は、自分たちが育てているアサガオの成長と比べながら、とても一生懸命、水やりをしていました。だんだん成長して行って花が咲き出すと、花を取って押し花にしたり、色水を作ったりする姿が見られました。</p> <p>日差しもさえぎってくれ、西日が強く当たる頃になった夏休み明けは、とても役に立ちました。来年は、もっと水やりをしっかりとしたり、追肥をしたりして、今年以上のカーテンを作りたいと思います。</p>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立源池小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年（1，2組） 47名
担当者	三重野 節史 小池 若菜
実施日（期間）	平成27年5月22日（金）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントによる地球温暖化に関する講義 （地球温暖化の現状やこのままだと今後どうなるか、自分たちができることは何か、緑のカーテンの効果や管理について）</li> <li>・緑のカーテンとなる朝顔の種まき</li> </ul>
実施状況 （授業風景）	 <p>&lt;地球温暖化と緑のカーテンの効果&gt; 世界地図で気温の変化を、色で分かりやすく説明してもらい、直面している温暖化への理解を深めることができた。また、身近にできる対策として、CO<sub>2</sub>を排出しないことや緑のカーテンづくりなど、考えるきっかけとなった。</p>



<朝顔の種まき>

水やりをするときに、汲み置いた水を使った方がよいことなど、世話のしかたを教えてもらった。

記 入 者

小池 若菜

授業について

**1 授業を通しての子ども達の反応、感想等**

地球温暖化が年々深刻化していることをいろいろなデータを元に教えていただき、子どもたちも分かりやすく学ぶことができた。年数が進むにつれて青色からだんだんオレンジ色に変化していく世界地図のグラフを見て、「うわ、すごく温度が上がってる」などの声が聞こえた。その後、温暖化が進むことによって、自然環境が破壊されていることを説明していただいたので、子どもたちが自分たちにもできることをしたいという思いで、みどりのカーテン作りの活動に取り組むことができた。

緑のカーテンの朝顔は、水やり当番を決めて、責任を持って育てようとする姿があった。花が咲くと「この花きれいな模様だね」「たくさん咲いたね」などの声が聞こえ、植物の生長を感じながら生活できた。

**2 先生方の感想、要望等**

奥原造園の方には、授業や緑のカーテンの準備や撤去まで大変お世話になり、助かった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立芳川小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 4 学級 参加人数 1 1 7 名
担当者	4 年 2 組 担任 窪田 智子
実施日（期間）	平成 2 7 年 5 月 2 1 日（木）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>○講師の奥原さんよりお話をお聞きして、下記について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化について</li> <li>・緑のカーテンの効果について</li> </ul> <p>○理科「ヘチマの観察」</p> <p>○図工「ヘチマとぼく・わたし」の絵の制作</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>奥原さんのお話を、興味深くお聞きする子ども達 温暖化の地図が赤く変化していく様子にびっくり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>大きく育ったヘチマを観察</p>

授業について	記入者	4 学年担任 窪田 智子
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <p><b>○奥原さんのお話から</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンという言葉は聞いたことがありましたが、暑さをふせげるなんて知りませんでした。私はこの授業を受けて、エアコンの使い方に気をつけようと思いました。</li> <li>・地球温暖化の進んでいく様子を見て、びっくりしました。このまま進んでいったら、地球全体が真っ赤になってしまうことが分かりました。地球がどんどん暑くなっていってしまうと、これからどうなってしまうのかなと思いました。</li> <li>・地球温暖化について分かりました。このまま対策をしないですと、50年後100年後に、地球がどうなってしまうかわからないので、みんなががんばって、地球温暖化を少しでも遅らせたいです。</li> <li>・これから学校に緑のカーテンを作って、ヘチマとアサガオを育てていきたいです。学校中のみんなに、きれいなアサガオを見てもらいたいです。そして、ヘチマの観察をして、収穫してみたいです。</li> </ul> <p>○理科では、ヘチマがぐんぐん伸びて大きくなっていく姿を観察・スケッチすることで、植物の生長を実感することができた。</p> <p>○図工では、ヘチマの模様や色の違い、葉の形の違いなどまでよく見て細かいところまで気を遣いながら集中して制作に取り組む姿が見られた。</p> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習ではパワーポイントで地図やグラフを使い、児童が興味を引くように工夫して授業をしていただきありがたかった。ただ4年生にはやや難しい内容も含まれていた。</li> <li>・緑のカーテンを作っていたいただいたおかげで理科・図工でのヘチマの観察やスケッチなどがとてもやりやすく、ありがたかった。また普段なかなかできない環境教育にも目を向けるよい機会となった。</li> <li>・奥原造園さんが、棚作りを手際よくやってくださり、大変助かった。</li> </ul>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立波田中学校
実施学年、学級 参加人数	緑化委員会 参加人数39名
担当者	緑化委員会顧問 安井 翔一 大月 晴嗣
実施日（期間）	5月上旬～12月下旬
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオのつるを這わせるネットを設置していただいた。</li> <li>・花壇づくりを学んだ 土づくり 植え付け 水やり 肥料やり 除草 片付け</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	 <p>花壇の除草</p>

実施状況  
(授業風景)



緑のカーテンと出来上がった花壇

記入者 安井 翔一

授業について

**1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等**

・意欲を持って緑化委員を選ぶ生徒が少なく、最初の委員会での抱負の発表でも言葉に困る生徒が多くいたが、花壇作りや植え付けを通して、土に触れる喜びを感じていた。特に緑化委員は他の委員会より活動時間も多いたがほとんどの生徒が活動に参加していた。

・実際に12月の最後の委員会での本年の反省を述べる際、多くの生徒が、土に普段触れていないが、委員会を通じて土に触れ綺麗な花を咲かせる植物たちを間近に見られたことを喜んでいた。

**2 先生方の感想、要望等**

・今年は時間の都合でデザインを委員で決めることができず、植え付けの際、委員長と花の色のみで配置を決めてしまい、最終的な背丈を考慮しない花壇になってしまった。

来年は背丈を考えながらデザインを決められるとよいと思った。

<p>授業名</p>	<p>身近な自然観察</p>
<p>実施学校</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 29名 2年1組 25名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 塩原 千史    2学年担任 中山 豊</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年10月15日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>自然観察の会 ひこばえ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 今井小学校の学習公園で、いろいろな植物や冬に向けて準備をしている昆虫について説明を受けたり、自分たちで探してきて集めたりして観察した。 2 葉の葉脈を紙に写し取り、きれいな模様を浮かび上がらせて遊んだ。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>この中には何があるかな？</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>成虫になって冬越しする蝶もいます</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>何かいるぞ！見つけろ！！</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>葉脈きれいに写ったかな？</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	2 学年担任 中山 豊
	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植物のことが知れてよかった。</li> <li>・学習公園にはいろいろな植物や昆虫がいることが分かって、今度、家の人と遊びに来ようと思った。</li> <li>・「俺は、カマキリを見つける天才だ！」と言って、友だちの分のカマキリを採ってくれる子もいた。</li> <li>・葉脈を写した経験がない子が多く、特に女の子たちはとてもきれいな色で、いろいろな葉の葉脈を写していて、とても楽しそうだった。</li> <li>・男の子たちは、昆虫に興味が強くて、昆虫探しに熱中していた。</li> <li>・自然の中を走り回わり、とても生き生きとした姿が多く見られた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <p>2 年生は昨年も実施してもらいましたが、学習公園の活用としては、とてもよい活動だと思います。今まであまり活用されていなかった学習公園でしたが、いろいろな植物や昆虫、動物について教えていただいたことで、休日にもお家の方と行ったという話を子どもたちからも聞くことができました。学習公園を中心に少しずつ自然教育が広がってきていることを感じます。</p> <p>「ひこばえ」の方には、昨年と違った活動を考えていただき、2 年生の子どもたちでも飽きることなく、活動することができました。とてもありがたかったです。</p> <p>来年度もぜひ、お越しいただき、学習公園の魅力や自然についての学習を更に深めるきっかけをつくっていただきたいと思います。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>体感プログラムを中心とした自然体験学習</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立源池小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2 学年 5 3 名</p>
<p>担当者</p>	<p>木下 優子 赤木 文子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成27年9月29日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>トゥモロウ・リーディング倶楽部</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 燻製の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物の保存方法の一つとして燻製という方法がある。</li> <li>・燻製のやり方を実際に見せていただく。</li> <li>・一人一人竹輪を燻製にし、味や香り、食感を体験した。</li> </ul> <p>2 3つのグループに分かれてネイチャーゲームを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 同じ物見つけ</li> <li>(2) フィールドビンゴ</li> <li>(3) カモフラージュ</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>燻製の方法を見せてもらう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>自分たちで竹輪を釜に入れる</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ネイチャーゲームで虫探しです</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>同じ物みつけ これを探そう</p> </div> </div>

実施状況  
(授業風景)



フィールドビンゴで、  
条件に合った植物を  
探しています。

源池の森の中から同じ物を見つけました

記入者

木下 優子

赤木 文子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 燻製をした竹輪がこんなにおいしいとは思わなかった。
- ・ カモフラージュで、虫を見つけるのは難しかった。全部はみつけられなかったけど、いくつか見つけることができ、うれしかった。
- ・ フィールドビンゴでは、いくつもビンゴができてうれしかった。芽の出ている木を探すのが難しかった。
- ・ 同じ物見つけでは、紅葉がなくて大変だったけど、みんなで協力して探した。

2 先生方の感想、要望等

- ・ 実際に自分で竹輪の燻製を作って食べたことで、燻製の香りや味を体感し、いつも食べている竹輪との違いを知ることができ、子どもたちにとって新鮮な驚きがあったと思います。初めて燻製に接した子どもが多く、いい経験になりました。
- ・ ネイチャーゲームでは、どの子も慣れ親しんでいる源池の森の中を夢中で歩き回り、虫を探すことで虫の生活や知恵を学び、フィールドビンゴや同じ物見つけでは、じっくりと自然の植物の営みを見つめることができました。

3 その他

- ・ 何度もいねいに打ち合わせをし、子どもが希望している内容をくみ取ってプログラムを組んでいただき、2年生でも十分に楽しめる学習にさせていただきました。ありがとうございました。

## 講師コメント

松本市小中学校環境教育支援事業を実施した講師の皆さんから、コメントをいただきました。



①講師から見た子ども達の様子 ②今後の抱負など

### NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 石塚聡実

①スタッフに対して参加者人数が多かったかなと思いました。

②小学生のキャンプへの派遣で安全管理上等、適正なスタッフを配置できるようになればと思います。

### 合同会社リトルピークス 代表 小峰邦良（ガイドネーム：PJ峰）

①

- ・子ども達主体で物事に取り組む姿勢に感心した。
- ・屋内授業&屋外授業共に熱心に取り組んでいた。
- ・常に楽しむ姿勢でプログラムに取り組んでいた。
- ・身近な自然での原体験の乏しさを感じた。

②

- ・天候&水量&ダム放流によりプログラムに安定感が無い。
- ・出来る限り全天候型プログラムを構築する。
- ・本来のプログラムに即した代替プログラムを構築する。
- ・野外体験の場合、学校保険とは別に保険をかける必要があるのか無いのか、学校保険でカバーできる範囲について知りたい。
- ・今回、地元企業とのコラボが実現したが、より近隣で子ども達に密接した企業 とのコラボを展開していきたい。
- ・起承転結を重視した、単発でないテーマに沿った（一年間以上）学習プログラムを環境ネット内で作りだし、学校側に発信していきたい。

### 安曇野ふるさとづくり応援団

① ぬかくどで炊いたお米の美味しさに、目を輝かせておかわりをする子どもの姿が印象的でした。積極的に手伝いをしてくれる子どもがいた一方で、声をかけてもあまり関心を示さない子どももいました。

② 子ども達の米離れが進んでいると言われていますが、ぬかくど体験を通して、多くの子ども達にお米の美味しさを味わってもらいたいと思います。

### 自然エネルギーネットまつもと 平島 安人（ひらしま やすひと）

- ① 前半の座学の時間は、みな集中して聞いているように感じた。  
昨年もそうだったが、会田中学校の生徒は真面目な印象だ。  
後半の体験学習ではかなり楽しんでいる様子だった。  
座学での真面目な様子がおとなしさの裏返しではと心配もしたが、そのようなこともなく、積極的に体験していた。  
中でも女子生徒が元気なのが印象的だった。  
鹿肉に拒絶反応を示すこともなく、どの生徒もおいしそうに完食していた。
- ② 2年やってこちらも様子がつかめてきたので、いくつかの教育パッケージのようなものまで完成度をあげることができると思う。

### 信州ツキノワグマ研究会 濱口あかり

- ① 小学校1年生～中学3年生で行いしましたが、小学校低学年～中学年の子たちはとても元気で、たくさん質問もしてくれました。  
小学校高学年以上の子たちは、少し恥ずかしさもあり最初は静かでしたが、後半は元気も出てきて、真面目に取り組んでくれました。
- ② もっと子どもたちに身近にある自然や生き物に興味を持ってもらえるように楽しい活動を増やしていきたいと思っています。

### 株式会社 環境技術センター 宮澤 恵美

- ① 見ることのできない放射線を、実験で観察することができ、驚きがあったように思います。また、一番最初に放射線が空気中にどのように存在しているのかを理解することで、その後の学習が理解しやすくなったかと思います。  
今回は、放射線の学習からエネルギー問題を考えることにつなげた学習方法でしたが、このように、他につなげた学習ができることで、放射線がただ怖いものという感覚から、放射線の存在を認め、どのように付き合っていかなければならないのかを冷静にとらえられるきっかけになるのかもしれないと思いました。子供たちのエネルギーへの考え方のまとめを見てこのように感じました。
- ② 放射線の講座を始めたきっかけは、福島第一原発事故でしたが、事故から5年が経過し、放射線の学習も必要ですが、今回のように、放射線からエネルギー問題だったり、環境問題だったり、更にひろげた学習ができたらと思いました。その他、環境に関わる科学実験を考えていきたいと思っています。

パナソニック（株）エコソリューションズ社 CS部  
サービス・お客様関連企画課 川島 宏志

- ① ・落ち着いた様子で授業を進めやすく、予定通り実施できました。  
・名古屋市内の都市部の子ども達との違いは特に感じられませんでした。
- ② ・全国で年間200校程度実施しているプログラムです。機会がありましたら来年度も出来るだけ多くの児童に実施できれば、と考えております。

自然観察の会 ひこばえ 村上さよ子

- ① 地域的に（今井）自然環境にも恵まれている所なので、どの子ども伸びやかで、草やつるの中も平気で（元気で）動きまわっていました。
- ② プログラムの後半「葉っぱのアート」では、色えんぴつを使って葉っぱの形を浮きださせる作業であったが、1. 2年生には色えんぴつの使い方、ぬり方が難しく、うまくぬれない子もいて、クレヨンなどがよかったと反省しました。一子どもたちの年齢に応じた観察会のあり方を一  
子どもたちと、自然界の楽しさや不思議さの発見や「なぜ？」を考え、共に学ぶ観察会をたくさん行いたい。

トゥモロウ・リーディング倶楽部 藤村 哲

- ① 源池小学校は校内に「源池の森」として自然に触れ合う場所があり、子ども達は自然に親しむ素養が普段からできており、環境学習をすることに抵抗がなく、みんな楽しく学びと気づきを得ているように見受けられました。当日は天候にも恵まれ、各種体験活動についても参加した児童達は積極的に取り組んでいただき、教員の方々も児童達と共に実りある時間が過ごせたのではないかと感じております。
- ② 来年度以降も機会をいただけたら松本市内の子ども達が、環境学習へ取り組むために微力ながら関わらせていただきたいと思います。

平成27年度  
松本市小中学校環境教育支援事業  
学習プログラム一覧



平成 27 年度 小中学校環境教育支援事業 講座一覧

No.	分類	講座名称	講師	直接申込の可否	頁
1	自然体験	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	可能	74
2	自然体験	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動	特定非営利活動法人わおん	可能	75
3	自然体験 環境知識 生活力	1 梓川リバーウォーキング 2 地元の山が 100 倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験	合同会社リトルピークス	可能	76
4	自然体験 環境知識	1 ぬかくごご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	不可	77
5	自然体験 環境知識	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地	いきものみつけファーム in 松本 推進協議会	可能	78
6	自然体験 環境知識	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会	可能	79
7	自然体験 環境知識	水の生物の観察会	川の自然と文化研究所 (NPO)	可能	80
8	環境知識	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	可能	81
9	環境知識	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	可能	82
10	環境知識 生活力	マイ箸づくり	<small>かん</small> な 寿 鮑の会	不可	83
11	生活力	裁縫作業指導 (マイ箸収納袋制作)	松本市ボランティアセンター (松本市社会福祉協議会内)	不可	84
12	環境知識 生活力	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	可能	85
13	環境知識 生活力	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	不可	86
14	環境知識 生活力	リサイクル・リユースについてのワークショップ	フリマネット信州	可能	87
15	環境知識 生活力	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	不可	88
16	環境知識 生活力	木材の活用法	松本市林業士会	不可	89
17	環境知識 生活力	緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	可能	90
18	自然体験 環境知識	1 身近な自然観察 2 水辺の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物って何？	自然観察の会 ひこばえ	不可	91
19	自然体験 生活力	体感プログラムを中心とした自然体験学習	トゥモロウ・リーディング倶楽部	不可	92
20	まつもとの環境 5つの柱 プログラム	①地球環境 「地球温暖化」を考える	松本市環境政策課	可能	93
21		②循環型社会 「もったいない」を考える	松本市環境政策課	可能	94
22		③安心・安全な暮らし 安全・安心に暮らせるまちにするには	松本市環境政策課	可能	95
23		④自然の恵み 「生物多様性」って何だろう？	松本市環境保全課	可能	96
24		⑤心地よいまち 五感に心地よい環境を考える	松本市環境政策課	可能	97

## 学習プログラム 教科・領域との関連について

- 講座ごとに、教科、領域を関連づけました。ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

No.	講座名	関連する主な教科・領域							
		社会	理科	技術	家庭	生活	図画工作 美術	総合	特別活動
1	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	○	○			○		○	○
2	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動		○			○	○	○	○
3	1 梓川リバーウォーキング 2 地元の山が100倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験					○		○	○
4	1 ぬかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	○			○			○	○
5	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地	○	○					○	○
6	ツキノワグマの生態を知ろう	○	○			○		○	○
7	水の生物の観察会		○					○	○
8	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	○	○			○		○	○
9	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験	○	○				○	○	○
10	マイ箸づくり			○		○	○	○	○
11	裁縫作業指導(マイ箸収納袋制作)				○	○		○	○
12	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	○	○		○			○	○
13	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	○	○		○			○	○
14	リサイクル・リユースについてのワークショップ	○			○			○	○
15	木の授業とバウムクーヘン作り		○					○	○
16	緑のカーテン設置事業	○	○			○		○	○
17	1 端材の工作 2 積み木で遊ぼう	○				○	○	○	○
18	自然観察からはじまる自然保護の実践	○	○			○		○	○
19	体感プログラムを中心とした自然体験学習	○	○			○		○	○
20	① 地球環境 「地球温暖化」を考える	○	○			○		○	○
21	② 循環型社会 「もったいない」を考える	○			○	○		○	○
22	③ 安心・安全なくらし 安全・安心に暮らせるまちにするには	○	○					○	○
23	④ 自然の恵み 「生物多様性」って何だろう？		○			○		○	○
24	⑤ 心地よいまち 五感に心地よい環境を考える							○	○

- 講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。

【分類：自然体験】

<p>講座名称</p>	<p>1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングなどの引率 <span style="float: right;">(講座 No. 1)</span></p>
<p>支援事業内容</p>	<p>・こども自然体験教室 ・自然観察会（自然全般・植物・野鳥・昆虫など） ・野生生物や生物多様性に関する学習 ・自然観察会、自然体験の指導 美ヶ原、上高地、乗鞍高原、松本市アルプス公園など中信地区全域。（日程が合えば三城キャンプも対応可）</p> <p>プロジェクト・ワイルドのエducator資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマを決めていない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。 雨天の場合は屋内でプログラムを提供します。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定</p>
<p>時間数</p>	<p>2時間程度～1日（宿泊があってもよい）</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども10～15人に対して講師1名</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ TEL 0263-34-1543 E-mail info@yamatami.com 担当 石塚聡実 http://yamatami.com/</p>
<p>講師について</p>	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主たる活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドの資格者を軸に構成されています。信州の豊かな自然から人間と自然が共存する機能を理解し、そのあり方を考える事を目的としています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成25年度 松本盲学校 上高地ハイキングとプロジェクト・ワイルド実施 波田松原分校 美ヶ原ハイキングとプロジェクト・ワイルド実施 会田中学校 ポレポレ講座 室内にてプロジェクト・ワイルド実施 平成26年度 会田中学校 ポレポレ講座 室内にてプロジェクト・ワイルド実施 波田松原分校 上高地ハイキングとプロジェクト・ワイルド実施</p>
<p>申込み (直接申込可能)</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください。</p>

【分類：自然体験】

講座名称	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動 (講座 No. 2)
支援事業内容	<p>1 学校の校庭などの身近な自然で、自然と触れ合い感性を育てる活動</p> <p>2 自然の素材で作る簡単な工作で、道具が使えるようになる活動</p> <p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援。事前打ち合わせの中で、活動内容や狙いを確認。学校の希望に合わせたプログラムとする。（野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能）</p> 
対象学年（年齢）	3歳～大人まで
時間数	1～2時間程度 （希望時間に応じたプログラムを実施することもできます）
講師人数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 （安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します）
費用	講師謝礼 1人につき 5,000円（授業1回分毎） クラフトを実施する場合は、材料費（ひとり 100円～200円程度）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品、工具など
講師連絡先	特定非営利活動法人わおん TEL 0263-87-3005 E-mail waon@ac.auone-net.jp 担当 山田直美 <a href="http://waon.naganoblog.jp/">http://waon.naganoblog.jp/</a>
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している団体です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	学校の校庭でネイチャーゲームなどの自然体験活動 （会田小、田川小）
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	1 梓川リバーウォーキング 2 地元の山が100倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験 (講座 No. 3)
支援事業内容	1 梓川リバーウォーキング(川離れ防止大作戦！川の安全講習会付) 梓川の伏流水を歩き、泳ぎ、渡り、時にはライフジェットでプカプカ～目指すは大河犀川！フィールド「らーら松本から梓川・奈良井川合流部まで」 2 地元の山が100倍好きになる登山学(山歩きから学ぶ生きる力) メインフィールドは乗鞍岳、常念・蝶ヶ岳、鉢盛山。普段学校から見える地元の山を楽しみながら山歩き。児童&生徒主体の登山計画からお手伝いいたします。 3 アクティブ車椅子体験(新型車椅子を使い野山に飛び出そう) 今話題の新型車椅子補助器具「人力(ジンリキ)」を使用した新感覚障害者教育プログラム
対象学年(年齢)	小学校1年生より大人まで(プログラムによる)
時間数	最短1時間～泊まり込みプログラムまで対応可能
講師人数	プログラム1、2…子ども15人に対し、1人の指導者 プログラム3…子ども40人に対し、2人の指導者 *いずれもプログラム内容、フィールドにより変動あり
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) 保険料(34円～)、レンタル器材等(100円～)、プログラムによる
必要な準備	申込時、事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	合同会社リトルピークス TEL 0263-93-1243 携帯 090-3561-5351 E-mail mine@littlepeaks.jp 担当 小峰邦良 http:只今準備中(メールでお問い合わせください！)
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	プログラム①梓川ふれあいキャンプ内にて実践済 プログラム②市内小学生を対象に実践済
申込み(直接申込可能)	直接講師(上記連絡先)にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	1 むかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング (講座 No. 4)
支援事業内容	1 むかくどご飯炊き体験 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わっていただけます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜） 2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	2時間分程度
講師人数	子ども30人に対し2人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分） その他 お米代、資料代等 必要
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団 TEL 0263-81-1325 E-mail lifeport@nifty.com 担当 宮崎崇徳 <a href="http://azumino-furusato.com/">http://azumino-furusato.com/</a>
講師について	地域の自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」を安曇野市内で開催し、平成25年度からはリメイク版「ふるさとさんぽ」もスタートしました。これまでに市内20ヶ所で開催した「ふるさとウォッチング」を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、平成26年10月から公式サイトで公開しています。
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むかくどご飯炊き体験（菅野小、会田中）</li> <li>・地域発見ウォーキング（穂高北小）</li> </ul>
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ <a href="mailto:ecoeconet@gominetnagano.jp">ecoeconet@gominetnagano.jp</a> ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 いきもの探しと観察                  2 プランター菜園講座                  3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ                  4 田んぼの生き物と豊かな農地                  (講座 No. 5)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p> <p>作物を育てるもの、生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。精米工場の見学は年中できます。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学校3年生以上</p>
<p>時間数</p>	<p>90分（相談に応じて対応可能）</p>
<p>講師人数</p>	<p>1、3、4は子ども30人に対し2人の講師                  2は、子ども30人に対し1人の講師</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）                  2は、プランター、苗代、肥料代等別途実費がかかります。</p>
<p>必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>米の精（肥料）                  簡単な循環型農業に関する資料</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会                  TEL 0263-92-1508                  E-mail ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当 藤村</p>
<p>講師について</p>	<p>有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の協議会です。お米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法により土壌を豊かにし健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本                  （寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり）</p>
<p>申込み（直接申込可能）</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。                  申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください</p>

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No. 6)
支援事業内容	講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援 パワーポイントを用いた講義（クマの生態、出会った時の対処法等）
対象学年（年齢）	全学年可
時間数	1コマ（45分～90分）
講師人数	子ども 100人に対して2人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	・スクリーン ・プロジェクター（できれば）
講師からのからの 持込資材等	・パソコン ・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ
講師 連絡先	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会 〒 390-0876 松本市開智 2-9-8 TEL 0263-36-1884 E-mail:kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 担当 浜口あかり <a href="http://www.geocities.jp/shinshukumaken/">http://www.geocities.jp/shinshukumaken/</a>
講師について	ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を通し、“ツキノワグマ”とその生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現する。
開催実績	長野市の小中学校でのキャンプ事前授業の実施 ぼくらの学校での講義実施
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 7)
支援事業内容	<p>水辺の生物の観察会 水路・ビオトープ・学校プールなどにおける水生生物や植物の観察会を行います。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の川と水への意識</li> <li>・アルプスの水がもたらす恵みと課題</li> <li>・里地・里山の森と暮らしと水</li> <li>・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造</li> <li>・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について</li> <li>・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割</li> <li>・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり</li> <li>・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について</li> <li>・安曇野の魚と人とのかかわり</li> </ul> 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上（学年に合わせた授業を行います）
講師人数	子ども30人に講師1～2名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備 学校で準備するもの	網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット 虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）
講師 連絡先	川の自然と文化研究所（NPO） TEL 0263-72-3768 E-mail tyoshid2002@yahoo.co.jp 担当 吉田利男
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成り立ちを考え、今後の川の姿に関して提言するNPO法人です。
開催実績	校内の川や池に住む生物を観察しよう（平成24年度 島内小） 川の生き物観察（平成26年度 田川小）
申込み （直接申込不可）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識】

講座名称	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？ (講座 No.8)
支援事業内容	1 やさしい放射線の実験教室 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。  2 水ってなあに？（水の性質と循環を学ぼう） 水が固体、液体、気体に変わること、海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきてまた海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。 また、4種類の水を用意して、きき水を体験してもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうしてこの味の違いが出るのかを試験します。
対象学年（年齢）	小学校1年生～中学3年生まで学年に合わせて
時間数	2時間（ご相談ください）
講師人数	子ども40人に対し、2人の講師
費用	講師謝礼 1人につき5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	2 500mlのペットボトルを一人1本用意
講師からの持込資材等	1 やさしい放射線実験教室 放射線の軌跡観察の機材（タッパー、ランタンマントル、エチルアルコール等）、放射線量測定器 2 水ってなあに？ 水の循環模型、ドライアイス、硬度試験キッド、水の汚れ試験キッド
講師連絡先	株式会社 環境技術センター TEL 0263-27-1606 E-mail miyazawa.m@kgcenter.co.jp 担当 宮澤恵美 <a href="http://www.kgc-minnanolab.com/">http://www.kgc-minnanolab.com/</a>
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。
開催実績	やさしい放射線実験教室（会田中、菅野小） 水の性質と循環を学ぼう（会田中、今井小）
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください



【分類：環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験 (講座 No. 9)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>1 竹筒を自分たちで加工（切る穴あけ）して、ガラス玉などで装飾し、蜜蝋を使ったキャンドル（大きさ 50cm 程度）を作ります。作ったキャンドルはキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。</p> <p>2 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学びます。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学校高学年～中学生</p>
<p>時間数</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2～3時間程度 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 1時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 10 人に講師 1～2名</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） その他材料等については別途相談</p>
<p>必要な準備</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・実施場所として工作室 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・校内の流水（落差）がある箇所</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・可搬式小水力発電機</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎</p>
<p>講師について</p>	<p>市内 10 団体で構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり （松本市美術館ワークショップ、信大付属中、島立小、菅野小、高綱中） 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習（会田中）</p>
<p>申込み（直接申込可能）</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください</p>

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	マイ箸づくり (講座 No. 10)
支援事業内容	<p>自分で鉋、鋸<small>かな のこぎり</small>を使ってヒノキの端材から自分だけの箸を作ります。材木に関する基本的な知識についても学習し、モノを大切にする気持ちも養います。</p> 
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	2時間～3時間必要
講師人数	子ども10人に対して講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料代 1人300円
必要な準備	鉋、鋸 その他、申込時・事前の打合せを通じて別途相談作業に適した会場（工作室等）
講師からの持込資材等	工作台（机上に設置）、肥後ナイフ、鉋
講師連絡先	寿鉋の会 TEL 090-1828-5282 鬼頭朝雄
講師について	毎週金曜日に寿福祉ひろばで刃物のとぎ方や日曜大工などを行っています。長年に渡り家具作り等に携わっていた職人たちが講師を務めています。
開催実績	マイ箸づくり教室（会田小、菅野小、二子小、高綱中）
申込み（直接申込不可）	申込書を教育指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ <a href="mailto:ecoconet@gominetnagano.jp">ecoconet@gominetnagano.jp</a> ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：生活力】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋の制作） <span style="float: right;">（講座 No. 1 1）</span>
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象学年（年齢）	小学校以上
時間数	2時間程度必要
講師人数	子ども 10 人に講師 1 名
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 制作内容によるため別途相談
必要な準備	裁縫セット、布等の材料
講師からの持込資材等	布等の材料
講師連絡先	松本市ボランティアセンター（松本市社会福祉協議会内） TEL 0263-25-7311 FAX 0263-27-2239 E-mail vol@syakyo.matsumoto.or.jp 担当 中村ひとみ
講師について	市内の地域ボランティア部会メンバーが、箸袋を自作する際の指導を行います。
開催実績	マイ箸・箸入れづくり（二子小、高綱中、島立小）
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室 (講座 No. 1 2)
支援事業内容	地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。 1 あかりのエコ教室 従来の白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球の比較と実験を通じて違いを知る。省エネの効果の内容について学習する。 2 エコと太陽光発電教室 一般的な発電方法と再生エネルギーの中で、太陽光を利用した発電方法の実験を通じ、太陽電池の性質の内容について学習する。
対象学年（年齢）	小学校4年生～中学校1年生
時間数	2時限
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	無料
必要な準備	スクリーンもしくはモニターTV プロジェクター
講師からの持込資材等	・実験道具（4～5人で1台） ※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機
講師連絡先	パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本電材営業所 TEL 0263-27-4501 E-mail kasahara.m@jp.panasonic.com 担当 笠原正晴 <a href="http://panasonic.co.jp/es/">http://panasonic.co.jp/es/</a>
開催実績	平成22年：清水小6年、奈川中学1年 平成23年：清水小6年、会田中学1年 平成25年：会田中
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください



【分類：環境知識、生活力】

講座名称	生ごみ処理機を使用した堆肥作り (講座 No. 1 3)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ処理機を使用した堆肥作りの講師を派遣し、指導等を行い、資源循環やバイオ（微生物の働き）について学んでいただきます。小型の生ごみ処理機をクラス単位・学年単位で貸し出すことが可能です。</li> <li>・処理機の使用方法や堆肥ができるまでの指導支援を行います。</li> <li>・完成した堆肥の使い方も指導します。（1サイクル概ね3カ月で、できた1次堆肥を回収し、当社で2次堆肥に発酵させるため、臭いはあまり発生しません。県内の学校、保育園でも使用されています。）</li> </ul> 
対象学年（年齢）	小学校高学年以上
時間数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみを投入する回の授業として、60～90分程度</li> <li>・その後、機械で堆肥にする期間＝約3ヶ月、キクイチで熟成堆肥にする期間＝約1ヶ月の合計4ヶ月で1サイクル</li> </ul>
講師人数	機械1台あたり児童約40人（講師1名）
必要な費用	15,000円 材料費、機器管理、講師料込
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 実施時には生ごみ（野菜くず等）が必要
講師からの持込資材等	事前に生ごみ処理機を設置します （幅150cm×高120cm 要AC100V電源）
講師連絡先	株式会社キクイチ Tel 0263-92-5141 E-Mail kikuichi@go.tvm.ne.jp 担当 百瀬潔
開催実績	・生ごみ処理機を使用した堆肥作り（鎌田小、中山小）
申込み（直接申込不可）	申込書を教育指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	リサイクル・リユースについてのワークショップ（講座 No. 14）
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や家族が使わなくなったり、着られなくなったものをリメイクしたり再利用したりするワークショップ</li> <li>・環境の3Rについて、児童向けの市環境書籍紹介なども交えて、リサイクルやリユースの実情について学ぶ。</li> <li>・団体に支援しているアジアのカンボジアやフィリピンの小学生や児童の様子について映像などで学び、自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、未来の環境負荷を軽減することの大切さについて気付いてもらう。不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して発送するまでを体験する。</li> </ul>
対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生
時間数	2時間×2回くらいが望ましい。（連続可）
講師人数	子ども30人に講師1～3名
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）          その他経費（材料費等、必要物品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料作成の印刷代、講師の交通費実費など</li> <li>・平面コラージュなどを行う場合には画用紙など。</li> <li>・グループワーク用には模造紙と付箋など</li> </ul>
必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
講師からの持込資材等	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
講師連絡先	<p>フリマネット信州          TEL 090-9664-5510 FAX 0263-55-4451          E-mail firmanet@yahoo.co.jp <a href="http://furimanet.com/">http://furimanet.com/</a>          担当 立石恵子</p>
講師について	<p>平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や工法の支援も行っています。</p>
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに保護者と小学生が、リユースを体験するリサイクルフリーマーケット参加、日常生活で二酸化炭素を減らすやり方について学んだ。</li> <li>・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどをリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施した。</li> </ul>
申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。          申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 15)
支援事業内容	<p>竹や廃材などを活用して行う野外活動です。 木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども10人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 4,000円/約10人分
必要な準備	長机数台
講師からの持込資材等	レシピ等の資料、竹の棒などの資材、材料一式
講師連絡先	寿さと山くらぶ TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。昨年度の会員数65名。
開催実績	木の授業とバウムクーヘン作り（鎌田小、二子小、会田中、中山小）
申込み （直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木材の活用法 (講座 No. 16)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います（応相談）</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども6～8人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備	木工教室の場合、木工室等の会場
講師からの持込資材等	木工に必要な木材と機材一式
講師連絡先	松本市林業士会 TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎
講師について	松本市内の現役林業士約20名で組織しています。それぞれが木と森のスペシャリストとして、市内各行事、地域イベント等にも参加しています。
開催実績	木材の活用法（田川小、鎌田小）
申込み （直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ <a href="mailto:ecoconet@gominetnagano.jp">ecoconet@gominetnagano.jp</a> ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座 No. 17)
支援事業内容	<p>低学年…紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方、後の管理方法を解説します。(1時限)          高学年、中学生…希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p> 
対象学年(年齢)	小学校以上(学年に合わせた授業を行います)
時間数	小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)
講師人数	子ども120人に講師1名
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎)          ※学年全体で同一日時を実施する場合、学級数分の合計を負担していただきます。          例：1学年全体の3学級で実施→@5000円×3学級分=15,000円</p>
必要な準備	<p>設置場所の確保          // の耕し、施肥          ※可能な限り地植えを推奨します。          プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。          ※夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>
講師からの持込資材等	<p>・種子、苗 ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料          ・ネット、竹枠          ※ ネット張り作業は事前に行います(別日程で行います)</p>
講師連絡先	<p>松本市緑化協会          TEL 0263-48-3100          E-mail oku-zou@avis.ne.jp (株)奥原造園 奥原正司</p>
講師について	松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています
開催実績	緑のカーテン設置補助 25年度=14校、26年度=12校、
申込み(直接申込可能)	<p>直接講師(上記連絡先)にお申込みいただくことも可能です。          申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 身近な自然観察（四季折々を楽しみながら） 2 水辺（小川）の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物（外来生物）って何？ (講座 No.18)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 教室でのレクチャーもあります。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定</p>
<p>時間数</p>	<p>1回で2時間程度必要</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども15人に対して講師1名（先生と協力して1クラス程度まで）</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>自然観察の会 ひこばえ TEL・FAX 0263-26-1573 担当 村上さよ子</p>
<p>講師について</p>	<p>1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を旨として、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている</p>
<p>開催実績</p>	<p>校庭の自然観察、学習林（小学校）の自然観察 保育園の遠足、中学校のガイドウォーク</p>
<p>申込み (直接申込不可)</p>	<p>申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>
<p>問合せ</p>	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（<a href="mailto:ecoeconet@gominetnagano.jp">ecoeconet@gominetnagano.jp</a>）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)</p>

【分類：自然体験、生活力】

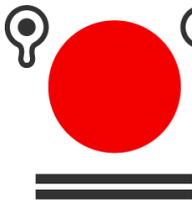
講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座 No. 19)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の実・木の葉当てクイズ (校内)</li> <li>・火起こし教室～ハリギリ式、新聞を使わない方法、火の育て方等</li> <li>・燻製教室、保存食の知恵 (校内可)</li> <li>・キャンプファイアー指導法、グループワークレクリエーション</li> <li>・野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド (体験型授業)</li> <li>・水について体験から学ぶ～プロジェクトウェット (体験型授業)</li> <li>・地域防災・ロープワーク (現職の消防士さんのワークショップ)</li> </ul> 
対象学年 (年齢)	小学校 1～2 年生：燻製教室/プロジェクトワイルド/ネイチャーゲーム 小学校 3 年生以上～中学校：上記含む提示したすべてのプログラム
時間数	基本的に 2 時限分程度 (80～90 分) 必要 ※移動時間含まず 内容により、半日程度
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 2～3 人の講師
費用	講師謝礼 1 人につき 5,000 円 材料費等は別途 (内容により異なります)
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。 材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教本・教材、など
講師連絡先	トゥモロウ・リーディング倶楽部 (TLC) TEL 0263-48-7233 松本大学中澤研究室 E-mail tomoyo.nakazawa@matsu.ac.jp 担当 中澤朋代
講師について	自然体験活動の指導者養成講習会を終えたOBメンバーを中心とした会で、チームでの実際の活動に繋がっています。講習は学校支援のテーマで文部科学省から自然体験活動推進協議会が受託し、松本大学にて実施したものです。研修のブラッシュアップや地域や指導現場の情報交換、ブース出展・主催キャンプ等を行っています。多様な人材が学校のニーズに合わせてチームで対応します。
開催実績	体験アクティビティー、自然観察学習、火おこし体験 (会田中)
申込み (直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当 (教育文化センター) に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)

【分類：まつもとの環境】活用講座①

講座名称	「地球温暖化」を考える ～あたたまる地球とエコな暮らし～ <span style="float: right;">(講座 No. 20)</span>
支援事業内容	<p>私たちの活動は、大量消費による豊かな暮らしと引き換えに、環境への負荷を増大させ、気候の変動により世界各地にさまざまな影響をもたらしています。</p> <p>20世紀半ば以降に観測された世界平均気温の上昇のほとんどは、人間の活動によって排出される二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスによるものといわれています。</p> <p>そこで、地球温暖化を防ぐためには、二酸化炭素などの温室効果ガスを削減することが大切なことから、一人ひとりが節電や省エネにと取り組むことの重要性を、パワーポイントを用いた映像等で学習します。</p>
対象学年（年齢）	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師1名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター・スクリーン
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境政策課の職員が伺います。
開催実績	新規事業 7月以降
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先にお申込みください）
問合せ	上記連絡先にお問い合わせください。



【分類：まつもとの環境】活用講座②

講座名称	「もったいない」を考える ～ごみの分別と食べ残し～ (講座 No. 2 1)
支援事業内容	<p>我が国で食べられるのに捨てられている、いわゆる「食品ロス」は、年間500～800万トンと試算され、日本で一年間に生産されるお米の量に匹敵すると言われていています。</p> <p>そして、その内半分は各家庭から排出されていると試算され、一人一人が食べ物に対する感謝を持つことが大切です。</p> <p>また、家庭から捨てられているごみの中には、分ければ資源になる「紙」や「容器包装プラスチック」が沢山入っており、子供の頃から「もったいない」の心で物を大切にするとといった意識を持ち、自ら行動することが必要です。</p> <p>そこで、ごみの分別と食べ残しをテーマに、食品ロス等のごみの現状を伝えるとともに自分達に何ができるのか、パワーポイントを用いた映像とクイズで、楽しみながら勉強します。</p> <div style="text-align: center;">  <p><b>食べものに、 もったいないを、 もういちど。</b></p> <p><b>NO-FOODLOSS PROJECT</b></p> <p>食品ロス削減国民運動キャラクター「ろすのん」</p> </div>
対象学年（年齢）	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師1名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境政策課職員が伺います。
開催実績	新規事業（園児向けの環境教育は平成24年度から実施）
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：まつもとの環境】活用講座③

講座名称	安全・安心に暮らせるまちにするには ～思いやりの気持ちでみんな気持ちよく～ (講座 No. 2 2)
支援事業内容	<p>私たちが住んでいる松本市は、きれいな空気や水など豊かな自然環境に恵まれています。</p> <p>しかし、その大切な空気や水を汚したり、騒音等を発生させると近隣の迷惑になるだけでなく、私たちの健康や生活に悪影響を与えることがあります。</p> <p>そこで、松本市の水、大気の実際の状況やどんな行動が環境に影響を与えるか。そして、自分達に何ができるのか等を、パワーポイントや実際の騒音計等を使って学びます。</p>  <p>公害測定の様子</p>
対象学年（年齢）	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師2名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン、騒音計
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kanyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境政策課及び環境保全課の職員が伺います。
開催実績	新規事業 7月以降
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先にお申込みください）
問合せ	上記連絡先にお問い合わせください。

【分類：まつもとの環境】活用講座④

講座名称	「生物多様性」って何だろう？ ～ 昆虫の送粉行動の観察 ～ <span style="float: right;">(講座 No.23)</span>
支援事業内容	<p>地球上の生きものたちは、長い年月をかけて様々な環境に適応して進化を続け、現在たくさんの種類の生きものたちがお互いにバランスを保って生きています。このようにたくさんの種類の生きものがあること、それらが複雑に関わりあって存在していることを「生物多様性」と呼びます。そして私たちの生活はあらゆる面で生物多様性に支えられています。</p> <p>本講座では、パワーポイントを用いた教室での授業により生物多様性について学び、その後、「生物多様性の恵み」の例として、<u>学校内の花壇を用いて昆虫の送粉行動の観察</u>を行います。</p> <p>児童に生物多様性を身近なものとして捉えてもらうことがねらいです。</p> <div style="text-align: right;">  <p>(マルハナバチ類の吸蜜行動)</p> </div>
対象学年（年齢）	小学生（相談のうえ、学年に合わせた授業内容を検討します）
時間数	1～2時限（応相談）
講師人数	講師1、2名
費用	無料
必要な準備	電源の確保（教室内）、開花中の花壇（訪花昆虫が訪れる環境）
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン
講師連絡先	松本市環境保全課 TEL 0263-34-3267 E-mail kankyo-k@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境保全課職員が伺います。
開催実績	新規事業（6月～9月）
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。
問合せ	上記連絡先にお問合せください。

【分類：まつもとの環境】活用講座⑤

講座名称	五感に心地よい環境を考える ～心地よいかおりと花いっぱい運動～ (講座 No. 2 4)
支援事業内容	<p>これまでの環境保全の取組みは、どちらかというとなお不快なおいや騒音などへの対策が主なものでした。しかし、近年では、自然や地域の文化などのかおりや音を大切に、より快適な感覚を得る、といった新しい視点から五感に心地よい環境づくりを行い、豊かな感覚を育む取組みが行われています。</p> <p>そこで、身近にある心地よいかおりや音、そして花いっぱい運動等を通じて、地域で自慢できる環境や自分達に何ができるのか等を学びます。</p>  <p style="text-align: center;">花いっぱい運動</p>
対象学年（年齢）	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師2名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kanyo@city.matsumoto.nagao.jp
講師について	松本市環境政策課の職員が伺います。
開催実績	新規事業 7月以降
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先にお申込みください）
問合せ	上記連絡先にお問い合わせください。

## 【附録】松本市環境政策課からのお知らせ



### 1 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加協力について

#### ○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、年会費・登録料無料の全国ネットワークです。幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

#### ○こどもエコクラブって何をするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みます。

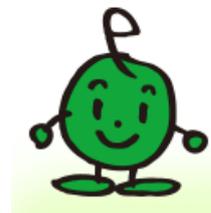
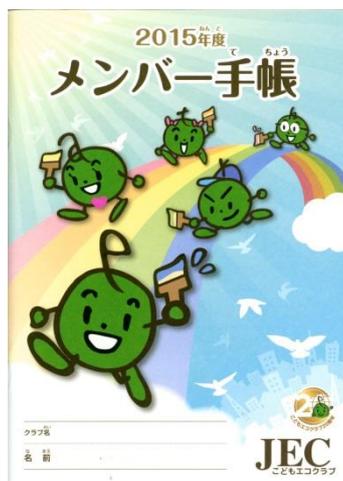
#### ○こどもエコクラブのかたち

こどもエコクラブは、仲間が集まれば、どんな形態でも、こどもエコクラブとして活動をはじめることができます。登録は1名から、クラブ・学級単位での参加も可能です。

#### ○登録すると・・・

【活動に役立つツールがもらえます】

活動に役立つ「メンバー手帳」が届きます。また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



### 【活動をサポート】

\* 専門家からコメントが届きます。

ウェブサイトから活動報告をすると、専門家から、これからの活動に役立つコメントが届きます。

\* 活動報告をするとアーススタンプがもらえます。

5つ以上アーススタンプを集めると「アースレンジャー認定証」が、もらえます。

### ○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※ はじめようこどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp/guide/index.html>

※ 平成 27 年 12 月末現在 登録クラブ数 2,092、メンバー数 119,282 人

※ 現在は公益財団法人日本環境協会が事業を引き継ぎ、実施しています。

## 2 食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」 ロゴマーク「ろすのん」について



### 「ろすのん」ってなに？

- ・真ん中の●は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）
- ・下の二本線「＝」は、お箸をイメージ
- ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

わが国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間500～800万トン発生しています。「もったいない」という言葉の発祥地である国として、官民が連携して食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」を展開しています。

松本市も、このプロジェクトに協力し、食品ロスの削減を推進しています。

食品ロスの約半分は家庭から発生しています。

ぜひ、食品ロスの問題に関心を持ち、その削減にご協力ください。

※平成 26 年度から、「ごみの分別と食べ残し」についてのプログラムを作成しました。「No. 21（無料）」ぜひ、お申込みください。

平成27年度  
松本市小中学校  
環境教育支援事業  
報告書

発行 松本市  
〒390-8620  
松本市丸の内3番7号  
電話 0263-34-3000 内線 1444  
E-mail  
[kankyo\\_kyoiku@city.matsumoto.nagano.jp](mailto:kankyo_kyoiku@city.matsumoto.nagano.jp)

編集 松本市 環境部 環境政策課  
松本市教育委員会 学校指導課  
協力 中信地区環境教育ネットワーク  
印刷 庁内印刷

